



20th ANNIVERSARY



JAPAN REGION

# ITC日本リージョン20周年沿革史

1982年～2002年



## ITC 宣誓

我々、インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

Slogan: I T C — The Power of Communication

スローガン: I T Cはコミュニケーションのパワー

Motto: To love our language and use it with grace and facility.

モットー: 私達の言葉を愛し、優雅に且つ流暢にそれを用いること。

#### ITC Vision Statement

International Training in Communication creates a better world tomorrow by training communicators and developing leaders today.

#### I T Cビジョン声明

インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションは今日のコミュニケーターを訓練しリーダーを養成することによって、明日のより良い世界を築きます。

#### ITC Mission Statement

“The mission of ITC is to provide global opportunities for self-improvement through progressive quality training in communication and leadership skills.”

#### I T Cミッション声明

インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションの使命は、コミュニケーションと指導力の質の高い訓練を通して、自己啓発のための国際的機会を提供することです。



2001-2002

### ITC日本リージョン声明文

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供して、リーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

#### Mission Statement of Japan Region

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purpose of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.

# 目 次

沿革史発刊にあたって 第20代日本リージョン会長 泉 和子 S.C.	1
祝 辞 I T C 国際会長 Irene E. Johnson, A.C.	2
元 I T C 国際会長 E. Jean Turner, D.C.	3
歴代会長のことば	4
歴代選出役員及び任命役員	15
歴代事務局・翻訳のあゆみ	17
歴代常任委員会委員長	20
歴代特別委員会委員長	24
歴代会長テーマと長期・短期目標	28
歴代年次大会開催日と場所	30
スピーチコンテスト優勝者	33
I T C 世界大会スピーチコンテスト並びにテープコンテスト	35
年次大会教育・訓練セッション	36
年次大会における表彰	44
カウンスル創立および分割	46
クラブ初代会長・チャーター番号年月日・所属カウンスル	47
日本リージョン組織図	50
会員数とクラブ数の推移	51
I T C 国際役員・委員としての活動	52
I T C 終身会員名簿	54
I T C 第58回世界大会準備委員会・儀礼的決議案(日・英)	55
I T C ディビジョン分布図	57
20年のアルバム	59

## 沿革史発刊にあたって



第20代日本リージョン会長  
泉 和子 S.C.

人にも大切な人生の道があるように、I T C日本リージョンにも誕生以来20年という道が敷かれ、歴史が刻まれ、ここに記念の沿革史を発刊する時が参りました。

歴史はさかのぼり、1949年一粒のI T Cの種が蒔かれ、日本で初めてのクラブが名古屋に誕生して以来、およそ30数年後、1982年に日本リージョンがI T C本部の方々によって支えられながら、新木昌子設立準備委員長の手によって創設された歴史を私達は忘れてはなりません。

当時、16クラブ、433名の会員数であったリージョンは、急速な進歩を遂げ、現在8カウンスル、85クラブを有する世界最大のリージョンに成長致しました。この内の2クラブは、今期の20周年を記念して増設され、今期末の会員数は1850名を越えます。

1938年にアーネスティンホワイト女史によって創設されたI T Cは、60数年間、女史の理念を変えることなく歩み続けておりますが、組織というものはその時の時代の変化に連れて変革していかなければなりません。20年前の創立当時とは運営の方法、会員の様子などは変化している日本リージョンではありますが、今日も健全な姿で、会員が気持ち良く在籍出来るのは、創設があったからこそ、又その間の良き指導者があったからこそであります。

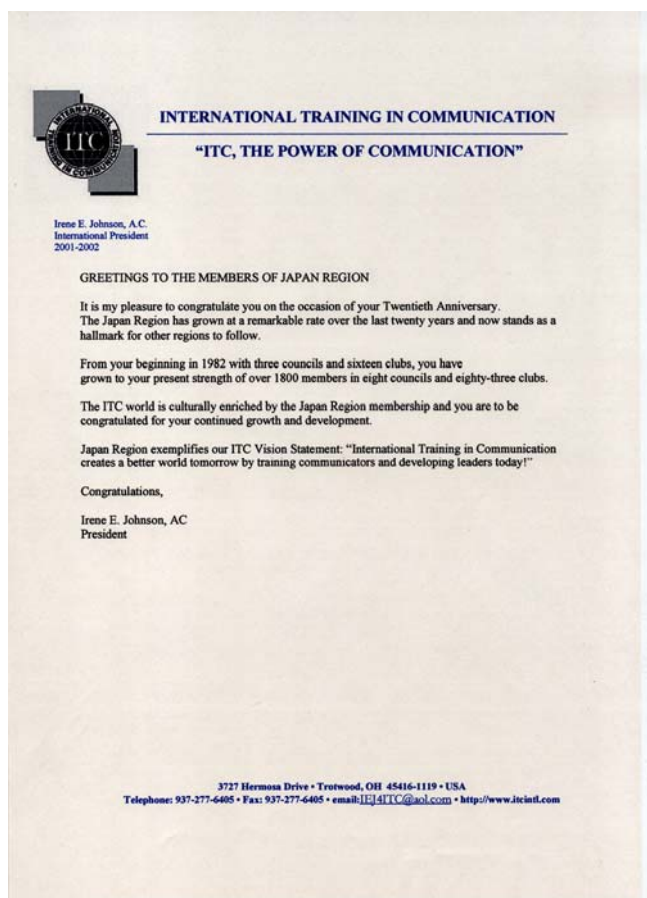
押しも押されもしない立派なリージョンに成長するまでの長き道程には、日本リージョンの初期の苦難の道を切り開き、基礎を固め、発展への道筋を定めて下さった先人達の確かな足跡が残されております。献身的な19名の歴代会長方のご努力と在籍会員の情熱をもった協力の記録を刻んだ歴史を残すため、10周年沿革史に続いて、20周年沿革史をここに発刊し、20周年の記念として現在ご在籍の会員の皆様全員のお手元にお届け致します。

古きよき物を継承し、新しい効果的な物を取り入れていかなければならないのが、次代を担う者の責務であると考えます。20年間のリージョンの功績を大切にこの沿革史に託し、今後の新しい発展を願って、沿革史発刊のご挨拶と致します。

# 祝 辞



2001-2002 ITC 国際会長  
アイリン E. ジョンソン, A.C.



日本リージョン会員の皆様

この度、20周年を迎えられた皆様にお祝いを申し上げますことはこの上もない喜びであります。過去20年間の日本リージョンの発展振りは著しいもので、現在では他のリージョンが見習うべき良いお手本となっています。

1982年に設立された当時は3つのカウンスルと16のクラブで発足したのが現在では83クラブ、1800余名もの会員を持つ力強いリージョンに成長されました。

日本リージョンが会員であることによってITCの世界は文化的要素も豊かになりました。益々のご成長とご発展に対し心よりお喜び申し上げます。

日本リージョンはITCビジョン声明である「インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションは今日コミュニケーターを訓練し、リーダーを養成することによって、明日のより良い世界を築きます。」をそのまま実証しています。

おめでとうございます。

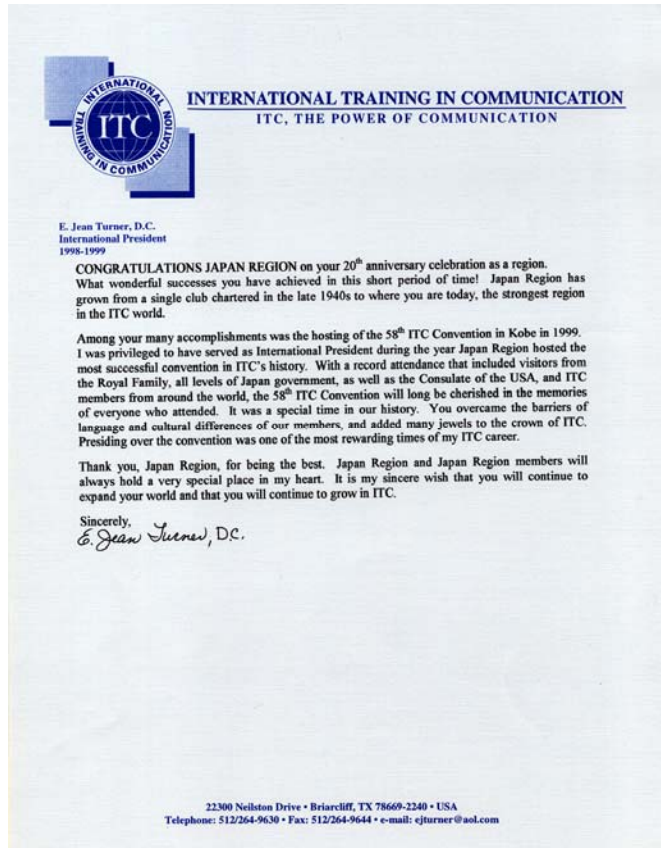
(2002年5月)

# 祝 辞



1998-1999 I T C 国際会長

E. ジーン ターナー, D.C.



日本リージョンおめでとうございます。リージョンとして20周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。この短期間になんと多くの素晴らしい功績を達成されたことでしょう。日本リージョンは、1940年代後半に唯一のクラブがチャーターされたのが、現在ではI T Cで世界一の強力なリージョンに発展されました。

多くのことを達成された中でも、1999年に神戸に於いて第58回I T C世界大会を主催され、最高の成功裡に行われた世界大会を国際会長として務めることができたのは誠に光栄でありました。宮家のご臨席を始め、日本の官庁の方々、アメリカ合衆国の領事、また世界各地からのI T C会員を含む記録的な出席者数を迎えた第58回I T C世界大会は出席した全ての人々の心にいつまでも残る思い出となるでしょう。私達の歴史の中で特別な一頁となりました。言葉の障害や会員の文化の違いなどを乗り越え、I T Cの王冠に更に沢山の宝石を加え飾りをつけて下さいました。この世界大会を司る会長であったことは、私のI T C歴での最も輝いた時になりました。

最良である日本リージョンの皆様、ありがとうございました。日本リージョンと日本リージョン会員の皆様は私の心の特別なところにいつまでも残っています。これからもあなた方の世界を一層広め、I T Cとして益々発展されることを心より願っています。

## 日本リージョン歴代会長



1981～82 設立準備委員長

1982～83 初代会長 新木 昌子

日本リージョンの20周年年次大会を迎えて、現在ITCの中で世界一大きいリージョンに成長したのは、偏に会員の勤勉さが原動力になっているものと誇らしく思います。

ITC組織構造の第3レベルのリージョンを設立するには、今から20年前に一夜にして出来たのではありません。それまでの貴重な土壌作りに努力した会員の能力と才能によるものです。また、それに加えて国際役員のご指導、特にアイ・ヨコタ女史（1978-79 会長）及びノーマ・W・ユーウィン女史（1981-82 会長）の弛まない細部に亘る熱心な指導があったからこそと感謝しております。

カウンスルが3つに分割したのと同時にリージョン設立準備委員会が編成されました。その会期の一年間はリージョンレベルの任務と責任を勉強して、会員にリージョンの役割を理解し支援するよう啓蒙するために委員会はこぞって励みました。そして、幸いなことに1982年6月にユーウィン女史を国際会長として迎え、京都で日本リージョン設立大会を盛大に開催する事が出来ました。

世界の会員とのかけ橋になる日本リージョンの役割を称して「友情のかけ橋」をテーマにしました。

また7月には第41回オーストラリア・シドニー世界大会で日本リージョンを代表してジーン・ジョイスさんがスピーチコンテストに出場され、その他22名の多数の会員が大会に参加したのも日本のITC史上初めての事でリージョン発足の前途輝かしい出発でした。

1982年8月から日本リージョン第一期が発足しました。当時はトーストミストレスクラブズの名称でした。ITC第3レベルのリージョンが日本にも形成されて、世界の他のITCリージョンと肩を並べて活躍する勇氣と責任を感じ、日本リージョン初代会長のテーマを「責任への挑戦」としました。会期の目標は「クラブ増設活動」「翻訳資料の充実」と「ディスカバーニュープログラム」の3つにしました。会員と役員会及び委員会の全ての結合と熱意により、リージョンの基礎作りに力を入れました。

リージョンの成長には本部からの情報、教育資料、会報等を日本語に訳すのが何より先決問題でした。翻訳委員会と資料委員会の設定はリージョンの重要な役割で生命線とも言えます。これらの委員会の献身的な能力と時間の奉仕は今なお事務局が引き継いでいます。第1期に17部の翻訳された教育特集を会員に提供することが出来たのは誠に素晴らしいスタートでした。クラブ増設活動も計6クラブの新設で目標を達成しました。

名古屋観光ホテルで1983年6月に公式訪問役員ディビジョンVI副会長レン・キャバヒルを迎えて日本リージョン第1回年次大会を成功裡に行いました。同じ年7月に第42回ボストン世界大会のスピーチコンテストにおいて、日本リージョン代表の秋沢瑛子さんが3位に入賞して日本リージョンの国際レベルでの活躍を大いに発揮されました。

会員一同の努力により基礎作りが固まり、日本リージョンが定着した現在、将来の改善、改革を期待しながら、記念すべき20周年を迎えるのはこの上ない喜びであります。



## 1983～84 第2期会長 ジーン・ジョイス

ジーン・ジョイスさんは「創造と進歩」をテーマとして船出させるには、コミュニケーションの技術を精一杯実行に移そうと希望に燃えて就任されました。まずクラブの増設をはかろう、会員の状況調査、各県に3～5クラブを増設しようと短期目標を立てられ、長期目標としては事務局の設立、1990年以後に日本で世界大会を開催しようと飛躍的な考えを打ち出されました。第2回大会の開会式において、各クラブにそれぞれオリジナリティのアイディアでクラブ旗を作成するように指導され、当日は創造性豊かな旗を各会長が掲げ華やかで楽しい行進でした。

ジョイス会長の人柄と業績を偲んで頂きたく、リージョン大会で私が彼女を紹介した言葉を述べます。「ジョイスさんは、テーマに創造と進歩を掲げ、一步ずつ前進することを奨励し、多くの会員の信頼に応えるべく真摯な態度でリージョン運営に新規格を取り入れ、献身されました。非常に慎重であり親切な優しさを以って接せられる反面芯の強い心身の持ち主です。神経をすりへらしながらも、会長職を真剣に努められ、さぞ辛抱された事かと思えます。只今から開幕するリージョンシンフォニーのコンダクターに心から深謝してスピーチをお伺いしましょう。」その頃毎朝放映していた「おしん」にかこつけてご紹介したのです。日本のITCの基礎作りに献身されたジョイスさんが亡くなられたのは、奇しくも第8期リージョン大会の2日前でした。

この年ITC国際会長ルース・シェパードが来日、各カウンスルを訪問され、教育されました。大会は神戸国際交流会館で20のワークショップを企画し、ITC副会長ロンダ・マケックニーを公式訪問者として迎え、ポートピアホテルで晚餐会が行われました。(第2期第一副会長 菊池 悦子 記)



## 1984～85 第3期会長 菊池 悦子

当時の役員は毎年代わり合って役職を経験し、カウンスル、リージョンを研究し勉強し合った仲間達でした。私が3期会長に何のはずみか指名され、とうとう選出されたことは全く自信もなく不安で決意する迄、かなりの熟慮を要しました。後にも先にも会長候補が二人あり選挙されたことは例のないことでした。就任スピーチも次年度の会場も多少は予期していたとは云え、混乱と緊張の固まりでスタートしたのです。

その年のディビジョンVI副会長に新木さんが当選、初めて日本から国際役員となられたことは、私にとって幸せな巡り合わせでした。8月中旬にどっさりと英文の公式文書類が届いた時、ドキドキしたものです。まず各カウンスル、クラブへの伝達経路を指示し、報告書や任命書の統一、教育指導を短期目標としました。長期目標はクラブの増設に努力する、リージョンの事務局設立への資金作りをすることを掲げました。

この年、出版委員会が誕生し、翻訳委員会の手で議事法マニュアル、評価マニュアルの翻訳が完成しました。名城、六甲、豊中、米子、姫路が認証されたのも大きな成果でした。

第3回リージョン大会はITC第一副会長ルース・ラムを公式訪問者として迎え「豊かな糧を」テーマに掲げ、日本生命中之島研究所を借りて大小17の教育ワークショップを企画し、晚餐会はロイヤルホテルで開催いたしました。340余名の会員が参加し盛大でした。

7月世界大会に参加、デトロイト大会でインスピレーションを日英で読んだことは光栄で緊張と喜びでした。年間テーマ「充実と向上」に向かって多忙を極めた一年でしたが、沢山の委員会の支援と協力があったからこそ実りも得られ、限り無い感謝をもって当時を振り返っております。



## 1985～86 第4期会長 盛田 純子

1984年の世界大会で、永年使い慣れた International Toastmistress Club の名称が International Training In Communication に変更することが採択され、1985年より正式に新名称となりました。幸いにもその年にリージョン会長に就任した私は、これを一つの新しい始まりととらえ、ジェーン・キッシンジャー ITC 国際会長の「誇り高き過去から意義ある未来へ」というテーマも踏まえて、期のテーマを「新たな前進」といたしました。

折りしも、インターナショナルとかコミュニケーションとかは、いわば流行りの言葉でした。又この年、男女雇用機会均等法が施行され、いろいろな面で、ITC に追い風が吹いているのを感じ、リージョン大会のテーマは、「順風に乗って」と決め、何か希望の湧いてくる年でした。

三代の会長のお陰で日本リージョンのしっかりした基礎固めができたこの時、組織内だけの発展にとどまることなく、何かと外部に向かって ITC を発信したいものと「社会との接点を持つ」ことを短期目標の一つとしました。先ず第一歩として少しでも奉仕活動ができるように、第一副会長の八代さんをお願いし、朗読の勉強会を始めました。

その他、オールクラブメーリングの翻訳を始めたのもこの年でした。そして皆様の重宝している「議事法マニュアル」が、多くの会員の奉仕により翻訳され、出版の運びとなりましたのも、思い出深いことの一つです。長期目標の一つに、「ITC 世界大会日本開催の促進」を夢のように掲げていたのが、漸く 14 年後に正夢となったのは、感慨深く思います。

リージョン大会の日まで、役員、委員、コーディネーターをはじめとする大会委員の方々、私を助けてくださった目に見えない多くの陰の力に対する感謝の思いは、大会が無事終了した時の充足感と大きな喜びと共に、今なお、心に深く残っております。



## 1986～87 第5期会長 八代 ふゆ子

「規則と人間性の調和」は故八代ふゆ子さんのテーマでしたが、誠にその通りの心構えで立派に第5期会長を務められました。知識と知恵を調和させて豊かな人間性を求め満ち溢れる思いやりの持ち主でした。

彼女は「規則に心はありませんがこれを守る人間には心があります。この2つを調和させるにはお互いに相手の立場への思いやりを忘れないという事が大切ではないかと思うのです。」と言われました。

八代会長の会期中に新しいクラブを6つも増設し、かつてない増加で会員も 1,000 名にもなり、世界中の ITC の中で日本の増加は群を抜いて目覚ましいものでした。

日本リージョン事務局設立の願望も実現に向けて大きく一步前進することが出来ました。日本リージョン事務局設立準備委員会を設け、資料の保管、発送に限り依頼先を決定しました。

長期目標の朗読研修は、1990年までに社会還元の実現を目指して3地区に分けて研修会を発足させました。

リージョン大会は神戸ポートピアホテルで盛大に開催され、本部からはディビジョンVI副会長ゲール・コリンズを公式訪問者として迎え、八代ふゆ子会長は高貴とも言えるリーダーシップを発揮し、演壇に立つ姿は気高い美しさで煌いていた事を懐かしく思い出します。

(第5期議会法規役員 新木 昌子 記)



## 1987～88 第6期会長 高柳 恭子

この期はI T C創立50周年記念の年で、平和を祈願し6月24日世界28ヶ国一斉に風船を打ち上げることになりました。賛否両論でしたが、広報委員長の努力で元名古屋市長を迎え、京都、大阪方面から名古屋に駆けつけて下さった会員の方々と雨にもめげず1000個の風船を打ち上げ、新聞、テレビでもにぎにぎしく報道されました。一般市民に開かれた記念プログラムも実施いたしました。

私がかねてからI T Cはスピーチの会ではなく、コミュニケーションの技術を学ぶ会であると信じていましたので年間テーマは「個人を越えるコミュニケーション」と決めました。その意は自分（個）の意見だけに捉われるの事なく、他人の意見もよく聞き相互理解促進をしていきたいと願ったからです。大会テーマは「過去に敬意、未来へ躍進」としました。晩餐会で荒巻京都府知事が京に都をおいて1200年の節目、このテーマをそのまま頂きたいと祝辞の中で述べ会場は笑いで包まれました。大会準備委員長は今は亡き木下あつ子さんで見事に大会を演出されました。公式訪問者はディビジョンVI副会長ジェイン・ラッセルでした。

任期一年、それは悲喜交々「言うは易く、行ふは難し」相互理解のコミュニケーションの難しさを痛感した一年でした。リージョンから発した「勧告」なる語が上意下達権威的と反発も受けましたが、今ではクラブもこの用語は煩雑に使われるようになりました。また当時日本はバブル的成長期にあり新しいクラブが次々と誕生、高度な教育を望む会員、楽しく社交的な教育をよしとする会員、英語を学ぶ事を主とする会員など様々で、何れにも満足してもらえぬ運営に苦慮しました。一方事務局制度も確立されていず、会長にはそれらの仕事にも責任があり、一年とはいえ実に凝縮した毎日でした。無事任期を終え、大会も終了、家に着いた途端ペタリと床に座り込んでしまい「終わった！」と言叫んで家族をビックリさせたことも思い出されます。役員の方々、会員の方々の友情、協力なしでは到底果たせなかったことも今心に深く残っております。感謝。



## 1988～89 第7期会長 鈴木 宏子

長期計画では「1990年までに50クラブ」の増設目標でしたが、1年早く目標を達成いたしました。1988年には倉吉、サンデー、安芸、大分、東葛、サタデークラブが認証され、1989年には境、米子マンデークラブが認証されました。

第7回リージョン大会は名古屋観光ホテルで開催され、公式訪問者はルビー・ムーンディビジョンVI副会長がオーストラリアから来てくださいました。

大会テーマは「飛翔」としました。この年は日本にI T C名古屋クラブが誕生して40周年にあたり、役員交代式を日本I T C40周年記念晩餐会とし、鈴木礼治愛知県知事と西尾武喜名古屋市長、名古屋クラブチャーター会員、佐々基子さんの祝辞をいただき、同じくチャーター会員でいらした山本尚さんに乾杯の発声をしていただきました。

クラブ数も50クラブとなりますと、とても個人の家で資料の管理、リージョン・メールの発送が難しくなり、服部印刷(株)に資料を預けて、発送をお願いしていましたが、資料の整理のために資料役員が印刷所が営業していない日曜日とか祭日に、名古屋の街を縦断して出かけてくださる苦労は見えていませんでした。I T Cの事務所の必要性を痛感したのですが、当時でも1ヶ月、3万円という予算の事務所は見つからず、なけなしのお金でマンションを購入し、I T Cの事務所を創設いたしました。当時の資料役員の苦労を今でも思い出す度に感謝しています。



## 1989～90 第8期会長 バルク 良子

1989年～1990年、日本リージョン第8期の会長に選ばれました。この頃英語クラブが増え、教育資料が本部から直接日本に送られてきたら便利だと考え、日本リージョン名義の銀行口座をアナハイムセキュリティバンクに開きました。英語の資料が早急に届き、好評でした。

I T C日本リージョン事務局が名古屋に設立され、日本リージョンに通常会計の他に事務局会計、基金会計、特別会計ができI T C役員テルマ・マックレランドの指導を受けました。

日本のI T C50周年に当たる1999年に、日本でI T C世界大会を開催することを目指し、世界大会準備委員会を設け、年間テーマを「達成の道へ」としたのは、そのプロセスは易しいものではありませんが、意思のある所に道は開かれると信じたからです。大会テーマを「橋づくり」としたのは、神戸は港でありポートピアホテルへ行くために人々は橋を渡って出席しなければなりません。I T Cメンバーは人と人との間の「橋づくり」ビルダーとしてコミュニケーションの人づくりに協力、支持したいと言う気持ちで決めました。

公式訪問者のI T C国際会長コリーン・ドーランは、大柄な体格で、金髪のショートヘアが美しく、すばらしいスマイルで話される方です。また彼女は大変寛大で、気取らず、正直で、共に生き共に働くことをモットーとしておられました。

“This is ITC” と題した新しいパンフレットが出来上がり、1990年に「世界大会を日本で」という日本リージョンの夢が1999年に実現したことは、I T C会員歴30年になる私の忘れられない思い出になりました。



## 1990～91 第9期会長 広瀬 忠子

最高の贈り物は、知識のプレゼントであり、得た知識を実践に生かしてこそ価値があるのだと考えて第9期のテーマを「識る喜び 行ふ楽しみ」と致しました。

リージョン大会ではI T Cを大樹になぞらえて「一花一葉あり」をテーマとし、公式訪問者ルビー・ムーンを迎え、リーダーシップについて多くを学ぶ事ができました。

大会は宝塚ホテルで開催し、プログラムの表紙は薄紫色で、すみれの花が描かれ、飾り付けも♪オー！タカラヅカの華やかな雰囲気いっぱいの大会となりました。

任期中の主な出来事として、カウンスルNo.1を分割しNo.1とNo.8とし、所属カウンスルは8となり、増設委員会は堺東、ぎふ、琵琶湖、葦崎、千種クラブをがんばって誕生させ、所属クラブ62、会員数1534名と急激に増加し、世界最大のリージョンとなりました。

リージョン大会のビジネスは前期から引き継いだものと急に増大した組織の歪みを見直す7決議案と38項目の会則及び常規の修正案が出され、審議が余りにも多いのを見かねて、大会前の5月にI T Cからマックレランド議会法規役員がわざわざ来日されて議事運営手段の指導をして下さいました。お陰で、少ないビジネスの時間と昼食の時間も惜しんで審議し、すべてクリヤー出来た時の達成感涙が出るほど嬉しくて忘れられない思い出となりました。心に残ったのはマックレランドさんの「メンバーを守るための会則であり、礼儀を以って会則を守らなければならない」という言葉でした。

リージョン会長をさせて頂けたことは私の一生の名誉であり、I T Cで得たものを地域社会で役立つ事が出来る喜びを心から感謝申し上げ9期の報告と致します。



## 1991～92 第10期会長 常 田 道 子

第10期のテーマは「理と真と」真摯にI T Cの理念と理想を守り、急速に成長しつつあるクラブ・カウンスルと密接で愛のある温かいコミュニケーションを保つことを目指しました。リージョン大会のテーマは、「明日をあなたに」会員それぞれに輝かしい明日の実りをもたらすような大会でありますようにとの願いをこめました。公式訪問者は、アニタ・ヘンスラー I T C国際会長。とても魅力的で美しく知性溢れる方で、オープニングに颯爽と入場されたときは、会場を期待と興奮の渦に巻き込みました、実はその前日、足首の捻挫でヒールの靴では歩けない状態でしたのに、その片鱗も見せられなかったのです。「意思決定のABC」というワークショップも明快な論理でリーダーを務めて下さいました。大会には、その他14の教育セッションが用意されました。

10周年記念事業として、広報、増設用のV T Rをプロに依頼して作成し全カウンスルに贈呈、また43年に亘る日本のI T C記録を編纂発行し、沿革史として全会員に配布しました。

I T C大会で世界初のリージョンオブザイヤーを受賞、表彰を受けました。日本リージョンとカウンスルの協力による活動が認められ、名実共に世界一になったのは10周年を飾る光栄でした。

この年、マスターマニュアルの翻訳が完成し、4クラブ増設により、会員数は1751名になりました。

世界は大きく動きつ連のクーデターで共産党が解体されましたが、I T Cは躍進を続け、ヨーロッパ92リージョンが誕生しました。I T Cは10月に公式声明文を採択しました。日本も大きな協力をし、I T C基金はピンの売り上げを含め2,299,798円を贈り、I T Cから感謝状を受けました。日本リージョンが益々大きくなる期待に溢れた年でした。



## 1992～93 第11期会長 星 野 佐 登

11期のテーマは「豊かな心でよりよい明日を」としました。「豊かな心」とは相手の立場に立って考えられる思いやりのある心、「ねばならぬ」と「したほうがよい」との言葉の違いが分かれるゆとりある心、近づきすぎて末端にだけ気をとられず、離れた所から全てが見れるひろい心などゆとりをもって各自の目標にチャレンジしていただきたいと願ったからです。

私は穏やかな顔つきで他人を傷つけない言葉を用いてコミュニケーションすることの大切さを痛感し、和やかな明るい大会をと願い、大会テーマは「和顔愛語」としました。

大会は私の大好きな京都で開催され、公式訪問者イレーン・ラ・ルー I T C国際会長は素敵なお主人とご一緒に来日されて、お二人で京都・奈良を楽しまれました。

この頃から日本の景気は低迷しはじめ、暗いニュースが多くなってきましたが、大会と同じ月に行われた皇太子のご成婚は久しぶりの明るいニュースでした。

1993年5月20日現在67クラブ、会員数1712名で日本リージョンは発展途上でしたが、ワープロ・FAXが普及し、コピーも安くできるようになり、増えてきた書類の山を如何にして減らすことが出来るか事務処理の合理化を短期目標に挙げて、会員の負担を軽くすることを心がけました。役員の方たちは皆様お忙しく、役員会で次の役員会の日を決めるのが一番大変で時間がかかったこと等懐かしく思い出します。素晴らしい役員の方たちと過ごした思い出に残る有意義な一年でした。



## 1993～94 第12期会長 伊庭 文子

テーマは「変化の認識とすばらしき対応」としました。現代は社会状況が激しく変化しつつあり、全ての感覚を研ぎ澄まして純粋な立場でキャッチしなくてはなりません。そして素晴らしいと自己評価できる結果が得られるように努力したいと願ってのテーマです。

大会テーマは「ひろがり」。青い空、若葉の六甲、文化の花開く会場神戸は世界への門戸、21世紀への大きなひろがりイメージしました。

公式訪問者はスーザン・シーフレット ITC 国際会長で高い認識と温かい人柄のスマートなレディで、彼女は任期中のリージョン会長の同窓会を作られて ITC 大会毎にご招待があり、彼女の自室でプレゼントを交換して歓談します。

リージョン大会は初めての試みとしてホステスを一つのカウンスルとせず、近隣カウンスルにそれぞれ適した任務を受けてもらい、No. 2, 3, 4, 5, 6, 7, の協力体制で運営し、総登録者数 900 名の盛会でした。

大会の教育セッションハイライトとして、大学生と会員のディベート「子は親を養うべきである」の企画を持ちました。

任期中の特筆すべきことは、シーフレット会長の指示される「活動計画」を具体的に解説して学習内容を会報に記載し、有志クラブを指導したこと、又 PREM 活動の推進に力を入れ、ITC と社会とのつながりと還元の実践としてシンポジウムや会員による会社及びホテルの社員教育を行い評価を得たことです。

この期に増設されたクラブは横浜、徳島、福岡の3クラブで、クラブ数は74、会員数は1828名でした。



## 1994～95 第13期会長 小林 令

13期のテーマは「受動から能動へ」。世界の ITC 会員数減少が顕著に見え始め、時代に合った組織の変革の必要性を痛感し、会員が能動的に組織の運営を考え関わることへの願望を目指したテーマでした。

年次大会は日本リージョンとして初めての東京での開催、大会テーマは、コミュニケーションの基本理念“Common Understanding” 「理解の共有」としました。本部からの公式訪問者には、当時のディビジョンIV副会長ジェーン・ハリスをお迎えしました。

この年度として決して忘れられない出来事は、期の半ば1月17日に阪神淡路大地震に見舞われたことです。被災地の会員を想い、一時は日本リージョンの正常な運営すら危ぶまれる状態でしたが、全国の会員と共に痛みを共有し、被害を受けた会員の真摯な明るさに多くを学びつつ前進できたことは、今でも感謝と痛みの共存する記憶のページです。

その後の世情不安は4月の地下鉄サリン事件で極限に達し、震災からの復興も未だ混沌とした状況でしたが、6月のリージョン大会を予定通り開催できたのは、会員の熱意に因るものでした。東京のホテルオークラで、大会終了後の公式訪問者との話し合いの中で、「世界大会の日本への誘致」という言葉が、当時はまだ全く将来の夢を語るような感覚で話題に上ったことも思い出されます。



## 1995～96 第14期会長 江藤 万里子

第14期のテーマは「効果的なコミュニケーション」、大会テーマは「あなたの煌きを世界のあしたへ」として、公式訪問者ITC次期会長リリアン・モートンを迎えました。この大会でカウンスルNo.2、No.3の両会長から前年の災害に対する温かい支援に対してお礼が述べられ、今回の大会を開催出来た幸せを感じました。

長期目標で達成したことは(1)徳山クラブを設立、(2)事務局体制のシステム化について事務局にコンピュータの設置が決定、(3)リージョン分割を検討し、(4)日本におけるITC世界大会の実現に対し教育促進委員会に依頼して、誘致のための趣意書を各カウンスルの同意書と共にITC本部に送付しました。

短期目標としては(1)教育プログラムの充実、(2)PREM活動の推進、カウンスルとリージョンの活発な活動で京都国際ホテルの社員教育を5回シリーズで実施し、(3)組織運営の簡素化、効率よい伝達方法に務め、国際レベルとはFAXで交信を行いました。課題としては、ITCでのコミュニケーションをより円滑に行う為に「不必要な部分を削除し簡潔にすること」「時代の流れに沿った合理的な伝達方法を開拓すること」を挙げました。

新しい取り組みとして教育促進委員会から出版された教育資料をリージョン資料とし、会報は編集者の希望で写真のカラー印刷など斬新なスタイルで、世界の各リージョン及びITC役員からも賛辞を得ました。

この年ITC本部ビルの負債返済が完了し、祝賀会には日本の会員も出席し、リージョン、各カウンスル、クラブでもお祝いの催しを実施しました。

世界に通じるインターネットで、あなたの意見、私の考えが地球規模で交換できる日がそこに来ていると感じ「あなたの煌きをもって世界へ伸びようではありませんか」と願った1年でした。



## 1996～97 第15期会長 野田 絢子

21世紀を目前にして、「難しいを簡単に」をモットーに、世界のどの地域をも瞬時に結びつけるIT革命の波にのり、日本リージョンの簡素化の実現に向けてテーマを「改革への実践」としました。大会テーマは丁度時期的に神戸の大震災の後で人間の温かさや人々の心のやさしさにふれ、その感激をそのまま「LOVE」としました。公式

訪問者はジェーン・ゴルマー第二副会長をお迎えしました。事前に大会でのワークショップリーダーを依頼しました所「論題をこの中から選んでください」と10項目にも及ぶご自分用のワークショップのリストが送られて来て「まるで専門家みたい」と驚いたものでした。

長期目標は必要に迫られていた「1999年世界大会開催」と「事務局体制のシステム化」でした。短期目標に「インターネットの活用」とはしましたが、当時はまだコンピュータもあまり普及していませんでした。今、当時の私の基調講演を読み返してみました所「将来オールクラブメーリングもインフォメーションもEメールで届くようになるでしょう」などと申しておりますが、もうすでにその通り！文明の早さに驚いています。

この期に会場のポートピアホテルにコンベンションホールが新設され、1702人も収容できる大会場で大会を開催出来た事は私にとって面映い程のハイライトでした。そして更に私にとっての重大事件は、グラスゴーで行われた世界大会で「1999年世界大会を日本で行う」と発表されたことでした。日本での世界大会は予想していたもののこんなに早く現実の事としてITC役員・事務局長から具体的な相談を受け大変戸惑いました。早速資金集めに掛かり「コーヒー一杯運動」を開始し、会員が集めた資金は大変貴重なものでした。今期は2クラブ増設し78クラブ、会員数は1914名となりました。



## 1997～98 第16期会長 三宮 晶子

I T C 2000年の機構に関する選択肢についてのアンケートがあり、会員一人一人の意見が反映され世界的な視野でI T Cを観る機会となりました。日本の所属するディビジョンIVの4つのレベルは従来そのままの報告を受けました。日本リージョンも、未来への発展のためには現状に甘んじずI T Cの在り方を見つめ直す時期と考え、「未来を展く」を今期のテーマとしました。

阿波クラブ、岡崎クラブ、アクア千葉クラブが増設され83クラブとなりました。

メアリー・モアハウスI T C国際会長を公式訪問者に迎え、リージョン大会を大阪ロイヤルホテルで「可能性を求めて」をテーマに開催。プログラムは京都国立博物館館長、大阪市立美術館館長、大阪大学名誉教授によるフォーラム「21世紀の文化的可能性を求めて」を試みました。

日本での世界大会を来期に控え、ホストリージョンとして準備委員会が構成され、上限500万円をリージョン基金より拠出する決議案も可決され、大会の成功に向け会員の支援協力を得ることができました。又、高円宮妃久子殿下にご挨拶のため新木昌子世界大会コーディネーターとご一緒に宮邸に参りました。

9年余り会員より借用してきた事務局事務所の移転が決まり、1998年7月1日より同じマンション内の新事務所で業務を開始しました。

今、振り返るとリージョンの運営も様々な事がありましたが、そのような中で最後までみんなのチームワークで頑張った16期でした。



## 1998～99 第17期会長 江藤 万里子

第17期のテーマ「誇りをもって未来へ」、大会テーマは「世界の友で地球を小さく」で、公式訪問者はディビジョンIV副会長ヒラリー・ブラウンでした。長期目標としていた第58回I T C世界大会の成功はI T Cがダイヤモンド記念(60年)の年、日本のI T Cは次年度50年を迎えるこの記念すべき年に日本で初めての世界大会が神戸で開かれ、日本リージョンはホステスリージョンとして会員はその準備に懸命の努力を惜しみませんでした。

リージョン組織運営の効率化についてはFAX、Eメールによる伝達及び通信役員会の実行などで簡素化による運営方針を目指し好評でした。短期目標の事務局管理体制の整備は前年期末に移転した事務局にOA機器を設置し、インターネットの活動、及び事務局としての活動を再開しました。

コンピュータの活用についてはコンピュータシステム委員会は日本リージョンのホームページを開設し、神戸で開催されるI T C世界大会のホームページを製作し、日本の情報を大会に参加予定の海外のクラブメンバーに対して英語で掲載しました。

第17回の日本リージョン大会は世界大会推進のため国立京都国際会館で一日大会にする事になりました。I T C会長はじめディビジョンIV副会長、日本リージョン役員会、特にこの期の翻訳委員会の方々には大変お世話になったことを感謝しています。

一日大会には当初考えられなかった大勢の参加を得て、大会テーマ「世界の友で地球を小さく」の一端と見ることが出来ました。多忙な一年でしたが、その中でも6月1日付けで奈良若草クラブが承認され、カウンスルNo.6の所属となりました。

最後に、日本リージョン会長として日本で開催されたI T C世界大会において、ウェルカムパーティ及び開会式でホステスリージョン会長歓迎挨拶をさせて頂いた光栄をホステスリージョン会員一同と共に感謝し、「誇りをもって未来へ」進みたいと思いました。



## 1999～2000 第18期会長 今井 千代子

1999年から2000年の期。世界中が「ミレニアム」で浮き立ち、00年の日付変更でコンピュータが誤作動するおそれありと情報が飛びかった年。期のテーマは20世紀最後の期を意識して、記念すべき1000年に1度の節目か転換期かと「自覚的に、積極的に、21世紀に渡す」としました。

日本リージョンでは、コンピュータシステム化が組み入れられつつありましたが、この期は本部レベルとの通信は殆ど全てEメールとなりました。その一方、本部で会員名簿をコンピュータに入力するため、そのチェックに大量のカードが送られてきたり、過渡期の存在を感じました。この期、会則修正によりリージョン年会費が4000円から5000円になり、会報に予算作成の説明を入れるなどに留意。リージョン大会は、東京ホテルオークラで、テーマは「個の尊重と調和」、公式訪問者はクリストベル・ダウンズディビジョンIV 副会長。世界大会はトロント。日本リージョンは淡路クラブとサンガリヤクラブのチャーターで増設と、そして物品購入高も表彰されました。その反面、日本で初めてのクラブ解散、つくば紫峰クラブが生まれました。名古屋クラブ50周年記念祝賀会が華やかに開催されて、日本リージョンの歴史の重みをかみしめました。83クラブ総会員数1932名、ITCの意義を考えながらの1年、「得がたきは時、逢いがたきは友なるべし」をしみじみ感じました。



## 2000～01 第19期会長 桑原 美紀子

私は今までの会長と違って、ITC歴は18年もありますが、役員の実験は余りありませんでした。次期会長を受ける決意をした時から勉強を始めたと言っても過言ではありません。

さて会長の初仕事は、年間テーマを作成することです。テーマを「柔軟性と客観性を育てる」と掲げた理由は、リージョン会報の1号に書いてありますが、今日本リージョンに一番必要なことは、客観性を持った会の運営であると思ったからです。とにかく変革が必要であると痛切に考えておりました。では1年を振り返って印象に残ったことを列記してみます。

- (1) ブレンダ・エクスタイン ITC 国際会長が突然退職されて本部が混乱してしまい、当分事務全般が運営できなかったこと。理由は不明のままです。
- (2) 公式訪問者のウェイン・ポーラー ITC 議会法規役員は、日本でもよく知られており、会則のエキスパートの方でした。印象的だったのは日本の俳句もよく勉強した日本通でおられたことです。
- (3) 初めて広島で行われた年次大会でした。カウンスル No. 4 の会員が一丸となって協力してくださり、成功したことで、私は力を合わせる大切さを教えてもらいました。今も心から感謝しております。

さて、21世紀の初めである20期には、多くの合理化と変革が必要になります。当時の泉次期会長と腹藏なくITCの将来について話し合い、20期にバトンタッチ出来たことが、私の成果であったと考えております。

## 2001～02 第20期会長 泉 和子



20周年という記念すべき期は、世にも恐ろしいニューヨークのテロ事件から始まりました。しかし、役員会は今期のテーマ「21世紀 新たな挑戦」を掲げて、5つの短期目標達成のため、煩雑化する組織内の事務の簡素化を一番大切な着眼点とし「見えるリージョン」を実現してきました。

リージョンホームページをフルに活用し、リージョンの日頃の活動を掲載し、会員と会長の間でメールを繋げて、1人でも多くの会員とコンピュータ上の会話を重ね、コミュニケーションを密にして参りました。2度のリージョンメールはE-メール添付で送信され、やっと現代の電波の波に乗った気分でしたが、次の第3回、4回目のリージョンメールを遂にホームページに掲載し、リージョンから発信する殆どの書類は郵送の形からコンピュータ上の画面へと変化させ、会員は届けられる物を待つ受動的態勢ではなく、有るものを自ら求める能動的形へと意識的に改革を遂げました。

しかし、物事の改革にはいつ何時でも反発の波が押し寄せるものです。今期のIT革命の実践に賛同を示して下さる会員は最初は少なく、かなりの不安を感じましたものの、役員会の結束は固く、改革の姿勢を崩さなかったことで期の終わりにその成功を見ることが出来ました。勿論ITを扱わない会員へのフォローを忘れるようなことは致しませんでした。

その他会報、名簿はA-4サイズに移行することにより、読みやすい状態になりました。

沿革史を発刊し、会員に無料配布致しますことと、グリーソズ翻訳完成の実績は20期の大切な事業として後世に残ることでしょう。

又、初めて北陸の地にITCの種を蒔き、金沢クラブを誕生させ、東京都内に初の英語使用の東京セントラルクラブを設立したことも20期の記念の事業です。

そしてITC名誉会員高円宮妃久子殿下をお迎えし、アイリン・ジョンソンITC国際会長を公式訪問者として、平和な未来に向けて洋々と船をこぎ出す大会テーマ「海の碧」を掲げて、神戸で記念年次大会を開催しその成功をみたことを本当にうれしく思います。妃殿下の「Communication」と題したご講演、ジーン・ターナー元ITC国際会長やウェイン・ボーラー元議会法規役員による国際規模のワークショップ、19名の歴代会長の功績を称えた華やかな晩餐会、これら全てが会員の心の糧となって後世に残すことが出来ましたことを、重責を担った期の会長として誇りに思います。



日本リージョン歴代会長

## 日本リージョン歴代選出役員及び任命役員

年 度	会 長	次 期 会 長	第一副会長	第二副会長
設立(1981-82)	委員長 新 木 昌 子		COTS ジーン・ジョイス	

1 (1982-83)	新 木 昌 子		ジーン・ジョイス	菊 池 悦 子
2 (1983-84)	ジーン・ジョイス		菊 池 悦 子	盛 田 純 子
3 (1984-85)	菊 池 悦 子		盛 田 純 子	広 瀬 忠 子
4 (1985-86)	盛 田 純 子		八 代 ふゆ子	三 宮 晶 子
5 (1986-87)	八 代 ふゆ子	高 柳 恭 子	三 宮 晶 子	鈴 木 宏 子
6 (1987-88)	高 柳 恭 子	鈴 木 宏 子	新 木 昌 子	伊 庭 文 子
7 (1988-89)	鈴 木 宏 子	バルク 良 子	野 田 絢 子	木 下 あつ子
8 (1989-90)	バルク 良 子	広 瀬 忠 子	江 藤 万里子	須 知 繁 子
9 (1990-91)	広 瀬 忠 子	常 田 道 子	白 江 圭穎子	小 林 令
10(1991-92)	常 田 道 子	星 野 佐 登	木 下 あつ子	鵜 飼 恵津子
11(1992-93)	星 野 佐 登	伊 庭 文 子	今 井 千代子	豊 島 知 子
12(1993-94)	伊 庭 文 子	小 林 令	桑 原 美紀子	総 谷 英 子
13(1994-95)	小 林 令	江 藤 万里子	小 谷 貞 子	藤 原 文 子
14(1995-96)	江 藤 万里子	野 田 絢 子	早 川 住 江	西 田 富美子
15(1996-97)	野 田 絢 子	三 宮 晶 子	豊 島 知 子	入 江 笑 子
16(1997-98)	三 宮 晶 子	須 知 繁 子 江 藤 万里子	泉 和 子	後 藤 俐 奈
17(1998-99)	江 藤 万里子	今 井 千代子	西 田 富美子	佐 山 昌 子
18(1999-00)	今 井 千代子	桑 原 美紀子	中 村 治 子	村 上 令 子
19(2000-01)	桑 原 美紀子	泉 和 子	石 本 美知子	黒 瀬 眞紗子
20(2001-02)	泉 和 子	村 上 令 子	入 江 笑 子	柳 川 公 子

年 度	書 記	会 計	議会法規役員	編 集 者
設立(1981-82)	菊 池 悦 子	盛 田 純 子		ジェーン・ペイン

1 (1982-83)	盛 田 純 子	高 柳 恭 子	八 代 ふゆ子	江 藤 万里子
2 (1983-84)	広 瀬 忠 子	八 代 ふゆ子	武 田 とし子	泉 和 子
3 (1984-85)	バルク 良 子	三 宮 晶 子	鈴 木 美枝子	山 内 敬 子
4 (1985-86)	江 藤 万里子	鈴 木 宏 子	鈴 木 美枝子	常 田 道 子
5 (1986-87)	白 江 圭穎子	木 下 あつ子	新 木 昌 子	八 木 美恵子
6 (1987-88)	野 田 絢 子	常 田 道 子	小 林 令	鵜 飼 恵津子
7 (1988-89)	鵜 飼 恵津子	星 野 佐 登	高 柳 恭 子	堀 内 廸 子
8 (1989-90)	鈴 木 みつ子	小 崎 茂 子	置 塩 啓 子	立 花 真 琴
9 (1990-91)	星 野 佐 登	今 井 千代子	野 田 絢 子	村 上 美耶子
10(1991-92)	佐 山 昌 子	古 澤 由 紀	小 林 令	秋 山 美代子
11(1992-93)	近 藤 みほ子	田 口 邦 子	常 田 道 子	関 稔 子
12(1993-94)	秋 山 美代子	西 田 富美子	高 柳 恭 子	東 海 和 子
13(1994-95)	泉 和 子	野 村 弘 子	星 野 佐 登	石 川 浩 子
14(1995-96)	後 藤 俐 奈	西 村 利 子	須 知 繁 子	中 村 博 子
15(1996-97)	加 藤 啓 子	長 尾 妙 子	木 下 あつ子	南 部 紀代美
16(1997-98)	片 桐 寛 子	山 崎 眞 知	小 林 令	藤 原 栄 子
17(1998-99)	堀 江 祐 子	大 薮 京 子	鈴 木 宏 子	榎 本 町 子
18(1999-00)	曾 根 悦 子	永 井 眞 澄	常 田 道 子	坂 口 正 子
19(2000-01)	三 枝 瑤 子	米 門 公 子	常 田 道 子	岩 田 洋 子
20(2001-02)	立 野 知津子	杉 山 満佐子	盛 田 純 子	葛 谷 美紀子

## 日本リージョン歴代事務局

年 度	任命役員事務局長	資料任命役員	資 料	出 版
設立(1981-82)		盛 田 純 子		

1 (1982-83)		白 木 保 子		
2 (1983-84)		星 野 佐 登		
3 (1984-85)		片 桐 寛 子		白 木 保 子
4 (1985-86)		近 藤 みほ子		堀 内 迪 子
5 (1986-87)		田 口 邦 子		常 田 道 子
6 (1987-88)		堀 内 迪 子		竹 内 宏 子
7 (1988-89)		芦 原 煌 子		沢 田 芳 子
8 (1989-90)	新 木 昌 子	星 野 佐 登		鵜 飼 恵津子
9 (1990-91)	新 木 昌 子		杉 山 桂 子	徳 橋 八重子
10(1991-92)	新 木 昌 子		村 田 容 子	村 上 令 子
11(1992-93)	盛 田 純 子		葛 谷 美紀子	石 川 好 子
12(1993-94)	盛 田 純 子		森 尉 江	石 川 好 子
13(1994-95)	鈴 木 宏 子		飯 沼 佐智子	堀 内 迪 子
14(1995-96)	鈴 木 宏 子		田 嶋 邦 子	尾 藤 禎 子
15(1996-97)	鈴 木 宏 子		小笠原 生 子	鵜 飼 恵津子
16(1997-98)	鵜 飼 恵津子		小笠原 生 子	榎 村 元 子
17(1998-99)	鵜 飼 恵津子		榎 村 元 子	片 桐 寛 子
18(1999-00)	片 桐 寛 子		河 津 百 合	伊佐治 博 子
19(2000-01)	片 桐 寛 子		高 橋 弘 子	伊佐治 博 子
20(2001-02)	片 桐 寛 子		高 橋 弘 子	石 川 浩 子

年 度	翻 訳	特別会計 * 経 理
設立(1981-82)	東 浦 ゆり子	
1 (1982-83)	田 中 あさ子	
2 (1983-84)	笹 本 晃 子	
3 (1984-85)	ジーン・ジョイス	
4 (1985-86)	岩 佐 圭 子	菊 池 悦 子
5 (1986-87)	松 下 忍 人	菊 池 悦 子
6 (1987-88)	加 藤 啓 子	江 藤 万 里 子
7 (1988-89)	新 木 昌 子	石 川 浩 子
8 (1989-90)	土 居 和 子	吉 田 千 鶴 子
9 (1990-91)	加 藤 啓 子	竹 内 宏 子
10(1991-92)	土 居 和 子	伊 藤 孝 子
11(1992-93)	小 菅 あけみ	伊 藤 匡 子
12(1993-94)	岩 佐 圭 子	伊 藤 匡 子
13(1994-95)	曾 根 悦 子	富 田 範 子
14(1995-96)	藤 本 博 子	河 津 百 合
15(1996-97)	難 波 久 佳	*江 崎 恵 子
16(1997-98)	奥 田 小 夜 子	*江 崎 恵 子
17(1998-99)	森 川 佐 智 子	*榊 原 せい子
18(1999-00)	和 爾 玲 子	*高 橋 弘 子
19(2000-01)	白 垣 栄 子	*塚 本 博 子
20(2001-02)	柘 植 法 子	*塚 本 博 子

### 事務局事務所所在地

1981-88年

名古屋地区歴代の資料任命役員宅並に服部印刷(株)にて資料の保管及び発送業務を依頼する

1988年

事務所設定  
名古屋市東区葵3-25-20  
ニューコーポ千種橋5F503号

1988年

事務所移転 同上ビル1F101号

2002年8月

事務所移転  
大阪市北区豊崎3-10-2-604

## 翻 訳 の あ ゆ み

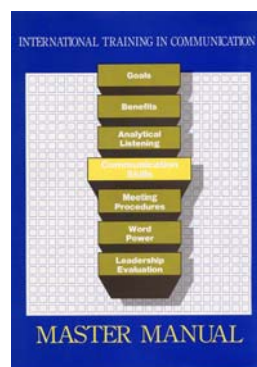
日本に於ける I T C の始まりは、名古屋市に駐在していた米国軍政部将校夫人たちを始め米国領事館の婦人たちやアメリカの会社の技術指導で日本に在住していたアメリカの技術者の婦人たちに加え、英語の出来る少数の日本人会員がそれぞれ教育資料を日本語に訳したり口伝えでそのつど指導して下さるのを頼りにして勉強しました。最初の日本語のハンドブックは会員の増田はるゑさんのご主人に訳して頂いたものが唯一の印刷された資料でした。そしてクラブ例会はバイリンガルで行っていました。この頃はお互い助け合いながら勉強したもので組織の進展はありませんでした。第2、第3のクラブができますまで16年もたってしまいました。

カウンスル No. 1 が 1973 年に創立してから会員の増加があり英語の才能がある会員も入会され、手書きの教育資料もすこしづつ作成されました。それから、最初に翻訳されて印刷したのはワークブックの「ファスト・イヤー・ゴールズ」で、1975年5月（テルマ・マックレランド I T C 国際会長訪日）に完成して3クラブの会員に配布されました。その次は、「トーストミストレス・クラブを設立しましょう」が訳され印刷されました。この頃から本部役員ノーマ・W・ユーウィン女史のご指導が大きく影響したものであります。彼女の信念は I T C が真の国際団体になるには英語の教育資料を他国語に翻訳することが必須条件であると主張して「教育マニュアル」を日本語に訳すよう大変熱心に激励されて、本部から1600ドルの援助金を取りつけて下さいました。教育マニュアルが始めて英語以外の言葉、日本語で出版されたのが1977年でした。これによって、会員の増員また日本語で例会を行う新クラブが盛んに設立され、I T C の発展は大いに刺激され日本での I T C 組織の進歩は目覚ましいものでした。

本部を米国に持つ日本リージョンは全ての読み物、会則、教育資料、情報、会報等を日本語に訳すことが欠かせない条件であります。会員の中に英語を訳せる僅かな数の会員達の献身的な作業により学習をつづけていた時代もありました。1982年リージョンを設立した時から翻訳委員会をリージョン事務局の翻訳部としてその作業を制度化して活動するようになりました。（1989年日本リージョン役員会承認）

1989年に教育マニュアルが改正されマスターマニュアルが本部から発行されたので、日本リージョンは1990年にマスターマニュアル翻訳特別委員会を任命しマスターマニュアルの翻訳は、1992年1月に初版が発行されました。

現在、日本リージョンが I T C で一番大きいリージョンに成長したのは他でもない忠実に作業を長年つづけている翻訳部の部員の功績でもあるとも言えるでしょう。



## 日本リージョン歴代常任委員会委員長

年 度	資 格 認 証	会 計 監 査	予 算 ・ 財 務	会 則 ・ 決 議
設立(1981-82)	八 代 ふゆ子	喜 谷 匡 子	盛 田 純 子	ジェーン・ペイン

1 (1982-83)	山 田 忠 子	豊 島 知 子	高 柳 恭 子	鈴 木 美 枝 子
2 (1983-84)	高 柳 恭 子	市 川 道 子	八 代 ふゆ子	マキシン・バスカム
3 (1984-85)	入 江 笑 子	野 田 絢 子	横 山 幸 子	置 塩 啓 子
4 (1985-86)	木 下 あつ子	立 花 真 琴	星 野 佐 登	東 浦 ゆり子
5 (1986-87)	高 柳 恭 子	日 比 野 明 子	喜 谷 匡 子	田 辺 敦 子
6 (1987-88)	鈴 木 宏 子	森 田 慶 子	豊 島 知 子	盛 田 純 子
7 (1988-89)	バルク 良 子	白 江 圭 穎 子	古 市 愛 子	小 林 令
8 (1989-90)	高 柳 恭 子	戸 田 誠 子	桑 原 美 紀 子	秋 山 美 代 子
9 (1990-91)	常 田 道 子	続 木 智 子	木 下 あつ子	藤 本 博 子
10(1991-92)	盛 田 純 子	蓬 萊 幸 子	小 谷 貞 子	後 藤 俐 奈
11(1992-93)	高 橋 美 枝 子	伊 藤 孝 子	秋 山 美 代 子	宮 寄 雅 子
12(1993-94)	須 知 繁 子	藤 村 泰 子	佐 藤 明 子	君 野 栄 子
13(1994-95)	古 市 愛 子	野 田 絢 子	長 尾 妙 子	白 江 圭 穎 子
14(1995-96)	星 野 佐 登	常 田 道 子	山 崎 眞 知	木 下 あつ子
15(1996-97)	小 林 章 子	小 林 令	伊 藤 匡 子	沖 田 道 子
16(1997-98)	大 野 三 恵 子	木 下 あつ子	盛 田 純 子	曾 根 悦 子
17(1998-99)	山 崎 眞 知	田 口 邦 子	蓬 萊 幸 子	小 林 令
18(1999-00)	武 田 綾 子	高 橋 雅 子	長 尾 妙 子	立 野 知 津 子
19(2000-01)	早 津 聡 子	永 井 眞 澄	衛 藤 元 子	今 井 千 代 子
20(2001-02)	松 下 忍 人	八 村 恵 美 子	藤 井 次 子	奥 田 小 夜 子

年 度	大会準備	選 挙	増 設	歴 史
設立(1981-82)	山 田 忠 子	近 藤 みほ子	八 代 ふゆ子	

1 (1982-83)	吉 田 千鶴子	磯 野 和 子	菊 池 悦 子	鵜 飼 恵津子
2 (1983-84)	三 宮 晶 子	田 口 邦 子	盛 田 純 子	伊 庭 善 子
3 (1984-85)	江 藤 万里子	岩 永 明 子	広 瀬 忠 子	林 達 栄
4 (1985-86)	須 知 繁 子	市 田 弥 生	三 宮 晶 子	白 江 圭穎子
5 (1986-87)	野 田 絢 子	亀 山 千 里	伊 庭 文 子	伊 藤 匡 子
6 (1987-88)	木 下 あつ子	三 宮 晶 子	堀 江 祐 子	
7 (1988-89)	豊 島 知 子	伊 庭 文 子	鈴 木 みつ子	
8 (1989-90)	泉 和 子	野 田 絢 子	鈴 木 宏 子	
9 (1990-91)	杉 山 満佐子	須 知 繁 子	古 市 愛 子	
10(1991-92)	石 本 美知子	入 江 笑 子	泉 和 子	
11(1992-93)	小 谷 貞 子	中 村 治 子	西 尾 琉璃子	
12(1993-94)	川 口 敬 恵	六 車 紀代子	後 藤 俐 奈	
13(1994-95)	今 井 千代子	田 口 邦 子	桑 原 美紀子	
14(1995-96)	片 桐 寛 子	白 江 圭穎子	相 川 真喜子	
15(1996-97)	柳 川 公 子	八 木 美恵子	常 田 道 子	
16(1997-98)	加 藤 啓 子	三 保 聖諭子	田 口 邦 子	
17(1998-99)	寺 内 紗智子	門 奈 具 子	藤 原 文 子	
18(1999-00)	星 野 佐 登	長 縄 千恵子	藤 原 雅 子	
19(2000-01)	佐 山 昌 子	加 藤 久美子	吉 岡 裕 子	
20(2001-02)	園 田 容 子	成 定 正 子	山 崎 眞 知	

年 度	国際交流	会 員	指 名	プログラム
設立(1981-82)		八 代 ふゆ子	野 田 絢 子	高 柳 恭 子

1 (1982-83)		菊 池 悦 子	武 内 熙 子	ジーン・ジョイス
2 (1983-84)		盛 田 純 子	石 本 美知子	菊 池 悦 子
3 (1984-85)		広 瀬 忠 子	鈴 木 宏 子	盛 田 純 子
4 (1985-86)	早 川 住 江	三 宮 晶 子	豊 島 知 子	八 代 ふゆ子
5 (1986-87)	後 藤 俐 奈	鈴 木 宏 子	高 橋 弘 子	三 宮 晶 子
6 (1987-88)	江 村 千鶴子	伊 庭 文 子	早 川 住 江	新 木 昌 子
7 (1988-89)	堀 江 祐 子	木 下 あつ子	ジーン・ジョイス	野 田 絢 子
8 (1989-90)	福 本 弘 子	須 知 繁 子	藤 田 令 子	江 藤 万里子
9 (1990-91)	鈴 木 みつ子	小 林 令	鈴 木 宏 子	白 江 圭穎子
10(1991-92)	藤 原 文 子	鵜 飼 恵津子	須 知 繁 子	木 下 あつ子
11(1992-93)	中 村 祐 子	豊 島 知 子	長 尾 妙 子	今 井 千代子
12(1993-94)	羽 尾 則 子	総 谷 英 子	今 井 千代子	桑 原 美紀子
13(1994-95)	中 野 洋 子	藤 原 文 子	辻 本 初 枝	小 谷 貞 子
14(1995-96)	山 寺 章 子	西 田 富美子	常 田 道 子	早 川 住 江
15(1996-97)	アン・イソット	入 江 笑 子	星 野 佐 登	豊 島 知 子
16(1997-98)	野 田 絢 子	後 藤 俐 奈	江 藤 万里子	泉 和 子
17(1998-99)		佐 山 昌 子	黒 瀬 眞紗子	西 田 富美子
18(1999-00)	十 河 尚 子	村 上 令 子	三 宮 晶 子	中 村 治 子
19(2000-01)	杉 谷 和 代	黒 瀬 眞紗子	岩 田 はるみ	石 本 美知子
20(2001-02)	八日市屋多栄子	柳 川 公 子	野 田 絢 子	入 江 笑 子

年 度	広 報	スピーチコンテスト	ライティング コンテスト
設立(1981-82)	山 田 忠 子	豊 島 知 子	

1 (1982-83)	古 市 愛 子	三 宮 晶 子	
2 (1983-84)	江 藤 万 里 子	常 田 道 子	
3 (1984-85)	三 宅 梢	泉 谷 智 恵	
4 (1985-86)	広 瀬 忠 子	野 田 絢 子	
5 (1986-87)	入 江 笑 子	福 本 弘 子	
6 (1987-88)	山 崎 正 子	鈴 木 みつ子	
7 (1988-89)	平 瀬 暢 子	須 知 繁 子	
8 (1989-90)	広 瀬 忠 子	マキシム・バスカム	
9 (1990-91)	三 上 博 子	桑 原 美 紀 子	
10(1991-92)	堀 江 祐 子	黒 瀬 眞 紗 子	豊 島 知 子
11(1992-93)	認 谷 英 子	木 下 あつ子	皆 川 迪 子
12(1993-94)	田久保 節 子	市 川 道 子	
13(1994-95)	中 須 智 子	田久保 節 子	
14(1995-96)	野 村 美 智 子	大 野 三 恵 子	
15(1996-97)	石 本 美 知 子	後 藤 俐 奈	
16(1997-98)	黒 瀬 眞 紗 子	八 木 美 恵 子	
17(1998-99)	白 村 治 子	井 手 智 美	
18(1999-00)	沢 田 郁	佐 野 千 賀 子	
19(2000-01)	大 野 加 津 子	黒 住 祥 重	
20(2001-02)	中 馬 知 津 子	中 村 祐 子	

## 日本リージョン歴代特別委員会委員長

年 度	委任・資格確認 派遣員資格確認	I T C 基金	朗 読 研 修	事務局設立
設立(1981-82)	八 代 ふゆ子			

1 (1982-83)	山 田 忠 子	伊 庭 文 子		
2 (1983-84)	横 山 幸 子	吉 田 千 鶴子		
3 (1984-85)	吉 田 千 鶴子	早 川 住 江		
4 (1985-86)	八 木 美 恵子	貴 田 正 子	八 代 ふゆ子	
5 (1986-87)	続 木 智 子	菊 池 悦 子	鵜 飼 恵津子	新 木 昌 子
6 (1987-88)	武 内 熙 子	鈴 木 宏 子	豊 島 知 子	新 木 昌 子
7 (1988-89)	常 田 道 子	三 宮 晶 子	山 崎 眞 知	新 木 昌 子
8 (1989-90)	吉 田 和 子	田 中 あさ子	大 野 三 恵子	
9 (1990-91)	松 下 忍 人	盛 田 純 子		
10(1991-92)	西 尾 琉 璃子	江 藤 万 里子		
11(1992-93)	武 田 綾 子	泉 和 子		
12(1993-94)	鵜 飼 恵津子	常 田 道 子		
13(1994-95)	古 澤 由 紀	片 桐 寛 子		
14(1995-96)	中 野 知 子	石 川 浩 子		
15(1996-97)	川 口 敬 恵	星 野 佐 登		
16(1997-98)	柚 本 加 代子	伊 庭 文 子		
17(1998-99)	岸 本 信 子	道 廣 裕 子		
18(1999-00)	岡 崎 祥 子	堀 内 廸 子		
19(2000-01)	青 木 和 恵	村 上 令 子		
20(2001-02)	小 泉 千 恵子	川 染 厚 美		

年 度	ITC50周年記念	マスターマニュアル	長期方針研究 *リージョン特別研究	通 信 書 記
設立(1981-82)				

1 (1982-83)				
2 (1983-84)				
3 (1984-85)				
4 (1985-86)				
5 (1986-87)				
6 (1987-88)	新 木 昌 子			
7 (1988-89)				
8 (1989-90)			*鈴 木 美 枝 子	
9 (1990-91)		土 居 和 子		
10(1991-92)		新 木 昌 子	星 野 佐 登	加 藤 啓 子
11(1992-93)			三 宮 晶 子	山 寺 章 子
12(1993-94)				加 藤 啓 子
13(1994-95)				松 下 逸 人
14(1995-96)				神 谷 恵 子
15(1996-97)				藤 本 博 子
16(1997-98)				船 橋 侑 子
17(1998-99)				神 谷 恵 子
18(1999-00)				
19(2000-01)				
20(2001-02)				高 橋 和 子

年 度	継続会員活動 教育促進	P R E M	沿 革 史	コンピュータ システム化
設立(1981-82)				

1 (1982-83)				
2 (1983-84)				
3 (1984-85)				
4 (1985-86)				
5 (1986-87)				
6 (1987-88)				
7 (1988-89)				
8 (1989-90)				
9 (1990-91)				
10(1991-92)			高 柳 恭 子	
11(1992-93)	新 木 昌 子	伊 庭 文 子		
12(1993-94)	新 木 昌 子	小 林 令		
13(1994-95)	新 木 昌 子	藤 原 文 子		
14(1995-96)	新 木 昌 子	西 田 富美子		
15(1996-97)	新 木 昌 子	石 本 美知子		田 中 裕 子
16(1997-98)				田 中 裕 子
17(1998-99)				川 崎 瑤 子
18(1999-00)				加 藤 玲 子
19(2000-01)				加 藤 玲 子
20(2001-02)			新 木 昌 子	加 藤 玲 子

年 度	世界大会準備	改善検討	組織運営研究
設立(1981-82)			

1 (1982-83)			
2 (1983-84)			
3 (1984-85)			
4 (1985-86)			
5 (1986-87)			
6 (1987-88)			
7 (1988-89)			
8 (1989-90)	盛 田 純 子		
9 (1990-91)			
10(1991-92)			
11(1992-93)			
12(1993-94)			
13(1994-95)			
14(1995-96)			
15(1996-97)	新 木 昌 子		
16(1997-98)	新 木 昌 子		
17(1998-99)	新 木 昌 子		
18(1999-00)		高 柳 恭 子	
19(2000-01)			
20(2001-02)			桑 原 美 紀 子

## 歴代会長テーマと長期・短期目標

期	会 長	テ ー マ	長 期 目 標	短 期 目 標
1	新 木 昌 子	責任への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トーストマスターズの目的推進</li> <li>・教育と活動を認識し奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増設活動を活発にする</li> <li>・翻訳資料を充実する</li> <li>・クラブプログラムに力を入れる</li> </ul>
2	ジーン・ジョイス	創造と進歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本事務局の設立</li> <li>・1990年以降に日本において世界大会の開催</li> <li>・教育と活動を認識し奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの技術を実行に移す</li> <li>・各県に3～5クラブ設立</li> </ul>
3	菊 池 悦 子	充実と向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新クラブ設立強化</li> <li>・日本事務局設立資金作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達経路の指示</li> <li>・プログラム教育内容の充実</li> <li>・各カウンスルに2クラブの増設</li> </ul>
4	盛 田 純 子	新たな前進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITC大会日本開催の為に促進</li> <li>・一般のスピーチコンテスト参加</li> <li>・日本事務局の設立</li> <li>・カウンスル再編成</li> <li>・国際活動の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会との繋がりを持つ</li> <li>・各カウンスルに1～2クラブ増設</li> <li>・各レベルのコミュニケーションをよくする</li> <li>・議事法に慣れる</li> <li>・資格認証課程に挑戦</li> </ul>
5	八 代 ふゆ子	規則と人間性の調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本事務局設立</li> <li>・朗読研修</li> <li>・クラブ増設強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読研修の促進</li> <li>・日本事務局設立特別委員会設置</li> <li>・クラブ増設強化</li> </ul>
6	高 柳 恭 子	個人を超えるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本事務局設立</li> <li>・朗読研修</li> <li>・クラブ増設強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本事務局設立</li> <li>・朗読研修</li> <li>・創立50周年記念行事計画</li> </ul>
7	鈴 木 宏 子	新たな発展へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本事務局事務所の設置</li> <li>・朗読研修</li> <li>・クラブ増設強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本事務局設立</li> <li>・朗読研修</li> <li>・広報活動の推進</li> <li>・資格認証への参加推進</li> </ul>
8	バルク 良 子	達成の道へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1999年までにクラブを100に</li> <li>・1999年までにITC世界大会の開催</li> <li>・英語カウンスルの設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国の銀行に日本リージョン名義の口座を開く</li> <li>・日本事務局の業務の開始</li> <li>・世界大会準備委員会の任命</li> <li>・リージョン研究委員会の任命</li> </ul>
9	広 瀬 忠 子	識る喜び 行う楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における世界大会のため国内の充実</li> <li>・ITC訓練を生かし社会参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局のよりよい在り方を考える</li> <li>・新クラブの増設</li> <li>・会計の一元化</li> </ul>

期	会 長	テ ー マ	長 期 目 標	短 期 目 標
10	常 田 道 子	理と真と	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会性の確立</li> <li>・質の高いクラブの増設</li> <li>・日本リージョンの分割</li> <li>・日本事務局体制の事業化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織としての伝達技術の向上</li> <li>・クラブの充実</li> <li>・社会参加活動の奨励</li> <li>・10周年記念事業ビデオ製作 沿革史発行</li> </ul>
11	星 野 佐 登	豊かな心で よりよい明日を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会性の確立</li> <li>・質の高いクラブ増設</li> <li>・日本リージョンの分割</li> <li>・日本事務局体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務処理の合理化</li> <li>・継続会員活動委員会の研究</li> <li>・PREM活動の推進</li> </ul>
12	伊 庭 文 子	変化の認識と すばらしき対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITCの社会性の確立</li> <li>・質の高いクラブ増設</li> <li>・日本事務局体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育プログラムの充実</li> <li>・PREM活動の推進</li> <li>・会員個々の社会性の確立</li> </ul>
13	小 林 令	受動から能動へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITCの社会性の確立</li> <li>・ITCの目的に適った質の高い クラブ増設</li> <li>・日本事務局体制の充実</li> <li>・日本リージョン分割の再検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育プログラムの充実</li> <li>・PREM活動の推進</li> <li>・増設活動の研究</li> <li>・積極的な意見の交換</li> </ul>
14	江 藤 万里子	効果的な コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ増設</li> <li>・事務局体制のシステム化</li> <li>・リージョン分割再検討</li> <li>・日本に於ける世界大会の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育プログラムの充実</li> <li>・PREM活動の推進</li> <li>・組織運営の簡素化 効率の良い伝達方法</li> </ul>
15	野 田 絢 子	改革への実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1999年世界大会開催</li> <li>・事務局体制のシステム化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の簡素化</li> <li>・インターネットの活用</li> </ul>
16	三 宮 晶 子	未来を展く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1999年世界大会の成功</li> <li>・リージョン組織運営の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局管理体制の整備</li> <li>・コンピュータの活用</li> </ul>
17	江 藤 万里子	誇りをもって 未来へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第58回世界大会の成功</li> <li>・リージョン組織運営の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局管理体制の整備</li> <li>・コンピュータの活用</li> </ul>
18	今 井 千代子	自覚的に、積極的に に、21世紀に渡す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リージョン組織運営の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局管理体制の整備</li> <li>・コンピュータの活用</li> </ul>
19	桑 原 美紀子	柔軟性と客観性を 育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理面の簡素化</li> <li>・伝達方法の合理化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブの充実を計る</li> <li>・行動力の在るリーダーを育てる</li> </ul>
20	泉 和 子	21世紀 新たな挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達方法の合理化 - インターネットの活用</li> <li>・組織運営研究</li> <li>・堅実な増設</li> <li>・会員の増強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20周年記念事業 沿革史発行 クラブ名のネームプレート掲示 推進運動</li> <li>・E-mailによる伝達方法の確立</li> <li>・名簿の形態の変更</li> <li>・グリーンズ翻訳完成</li> <li>・A-4サイズへの移行</li> </ul>

## 日本リージョン年次大会開催日と場所

リージョン設立大会  1982. 6. 4～5 京都タワーホテル パークホテル	設立委員長	新木 昌子
	コーディネーター	山田 忠子・江藤 万理子
	大会テーマ	友情のかけ橋
	公式訪問者	Norma W. Ewin, B.E.M. (ITC International President)
第1回  1983. 5. 30～31 名古屋観光ホテル	会 長	新木 昌子
	コーディネーター	吉田 千鶴子・鈴木 宏子
	大会テーマ	和 合
	公式訪問者	Lyn Caverhill (ITC Vice President Division VI)
第2回  1984. 6. 1～2 神戸国際会議場 神戸ポートピアホテル	会 長	ジーン・ジョイス
	コーディネーター	三宮 晶子・野田 絢子
	大会テーマ	Step by Step
	公式訪問者	Rhonda McKechnie (ITC Vice President Division VI)
第3回  1985. 5. 31～6. 1 日本生命中之島研究所 大阪ロイヤルホテル	会 長	菊池 悦子
	コーディネーター	江藤 万里子・木下 あつ子
	大会テーマ	豊かな糧を
	公式訪問者	Ruth Lamb (ITC Int'l 1st Vice President)
第4回  1986. 6. 4～5 名古屋観光ホテル	会 長	盛田 純子
	コーディネーター	須知 繁子・片桐 寛子
	大会テーマ	順風にのって
	公式訪問者	Jane Kissinger (ITC World President)
第5回  1987. 6. 9～10 神戸ポートピアホテル	会 長	八代 ふゆ子
	コーディネーター	野田 絢子・泉 和子
	大会テーマ	心に太陽を 唇に歌を
	公式訪問者	Gael Collins, D.C. (ITC Vice President Division VI)
第6回  1988. 6. 9～10 京都パークホテル	会 長	高柳 恭子
	コーディネーター	木下 あつ子・八木 美恵子
	大会テーマ	過去へ敬意 未来へ躍進
	公式訪問者	June M. Russel, A.C. (ITC Vice President Division VI)
第7回  1989. 6. 7～8 名古屋観光ホテル	会 長	鈴木 宏子
	コーディネーター	豊島 知子・竹内 宏子・葛谷 美紀子
	大会テーマ	飛 翔
	公式訪問者	Ruby Moon (ITC Vice President Division VI)

第8回 1990. 5. 31～6. 1 神戸ポートピアホテル	会 長	バルク 良子
	コーディネーター	泉 和子・柳川 公子
	大会テーマ	橋づくり
	公式訪問者	Corinne Doran, D.C. (ITC International President)
第9回 1991. 6. 12～13 宝塚ホテル	会 長	広瀬 忠子
	コーディネーター	杉山 満佐子・江藤 万里子
	大会テーマ	一花一葉心あり
	公式訪問者	Ruby Moon (ITC Int'l Secretary/Treasurer)
第10回 1992. 5. 26～27 ホテル ニューオータニ大阪	会 長	常田 道子
	コーディネーター	石本 美知子・坂口 正子・豊川 三千代
	大会テーマ	明日をあなたに
	公式訪問者	Anita L. Henzler (ITC International President)
第11回 1993. 6. 3～4 京都グランドホテル	会 長	星野 佐登
	コーディネーター	小谷 貞子・西田 富美子・大野 三恵子
	大会テーマ	和顔愛語
	公式訪問者	Elaine LaRue (ITC International President)
第12回 1994. 6. 2～3 ホテルオークラ神戸	会 長	伊庭 文子
	コーディネーター	川口 敬恵・柚本 加代子・小島 百合子
	大会テーマ	ひろがり
	公式訪問者	Suzanne Shiflet (ITC International President)
第13回 1995. 6. 2～3 ホテルオークラ東京	会 長	小林 令
	コーディネーター	今井 千代子・堀江 祐子
	大会テーマ	理解の共有
	公式訪問者	Jane Harris (ITC Vice President Division IV)
第14回 1996. 6. 4～5 名古屋ヒルトンホテル	会 長	江藤 万里子
	コーディネーター	片桐 寛子・新木 昌子・松井 葵
	大会テーマ	あなたの煌めき世界のあしたへ
	公式訪問者	Lilian Morton (ITC Int'l President Elect)
第15回 1997. 6. 10～11 神戸ポートピアホテル	会 長	野田 絢子
	コーディネーター	柳川 公子・立野 知津子
	大会テーマ	LOVE
	公式訪問者	Jane Gollmer (ITC Int'l 2nd Vice President)

第16回 1998. 6. 4～5 大阪 リーガロイヤルホテル	会 長	三宮 晶子
	コーディネーター	加藤 啓子・堀 容子
	大会テーマ	可能性を求めて
	公式訪問者	Mary H. Moorehouse (ITC International President)
第17回 1999. 6. 3 京都国際会議場	会 長	江藤 万里子
	コーディネーター	寺内 紗智子・中野 知子
	大会テーマ	世界の友で地球を小さく
	公式訪問者	Hilary Brown, A.C. (ITC Vice President Division IV)
第18回 2000. 6. 2～3 ホテルオークラ東京	会 長	今井 千代子
	コーディネーター	星野 佐登・嶋田 凱子
	大会テーマ	個の尊重と調和
	公式訪問者	Christobel Downs, A.C. (ITC Vice President Division IV)
第19回 2001. 6. 15～16 広島プリンスホテル	会 長	桑原 美紀子
	コーディネーター	佐山 昌子・石崎 慶子・鴉田 孝子
	大会テーマ	学ぶことの楽しさ
	公式訪問者	Wyn Bowler (ITC Int'l Parliamentarian)
第20回 2002. 6. 10～12 神戸ポートピアホテル	会 長	泉 和子
	コーディネーター	園田 容子・長澤 久子
	大会テーマ	海の碧
	公式訪問者	Irene E. Johnson, A.C. (ITC International President)



## 日本リージョン英語スピーチコンテスト優勝者

回数	開催日	氏名	クラブ	論題	題目
設立大会	1982. 6. 5	ジーン・ジョイス	阪神		Not Enough Time
1	1983. 5. 31	秋沢 瑠子	阪神	Being an International Person	Not Only with Things, But Also with People
2	1984. 6. 1	泉谷 智恵	E神戸	Gift	Invisible Wrapping
3	1985. 6. 1	小木 曾薫子	名城	Privacy	Do You Mind?
4	1986. 6. 5	小島 百合子	阪神	Recent Thoughts	With Greater Consideration for Nature
5	1987. 6. 10	佐伯 きよえ	鳥取	Education	Happiness of a Child
6	1988. 6. 10	杉田 喜久子	阪神	The Aged in Japan	Lessons from Grandmother
7	1989. 6. 7	川崎 瑤子	錦	Watching	Close Our Eyes
8	1990. 5. 31	中内 順子	筑波	Do Something	The Way to the Well of Hope
9	1991. 6. 12	福本 弘子	奈良	Culture Shock	A Baked Apple
10	1992. 5. 26	鈴木 成子	柏	Dining Table	Happy Circle
11	1993. 6. 3	高山 敦子	北摂	Printed Letters	My Name on the News
12	1994. 6. 2	曾根 悦子	千葉	Puppet Master	Cut the Strings
13	1995. 6. 2	小澤 佳恵	千種	Prime Time	Like a Boy in the Painting
14	1996. 6. 4	西村 郷子	柏	Environment	It's Our Duty to the Younger Generation
15	1997. 6. 10	戸塚 幸	E神戸	Decision Making	A Challenge of a Fifty-Year- Old Women
16	1998. 6. 4	乙野 靖子	北摂	Independence	I Hope That My Independence Day Will Come Soon
17	1999. 6. 3	落合 友紀子	栄	A Challenge	Amid the Globalization of the World
18	2000. 6. 2	村山 紀子	岡山	Communication	Men are Delicate
19	2001. 6. 15	小寺 恵子	柏	DNA	So What
20	2002. 6. 11	乙野 靖子	北摂	Secret	A Gift from God

## I T C世界大会スピーチコンテスト並びにテープコンテスト

氏名	クラブ	年	大会回数	開催場所	備考
ジーン・シヨイス	阪神	1982	41	オーストラリア・シドニー	
秋沢 珪子	阪神	1983	42	アメリカ・ボストン	3位
泉谷 智恵	E神戸	1984	43	アメリカ・ダラス	
小木曾 薫子	名城	1985	44	アメリカ・デトロイト	
小島 百合子	阪神	1986	45	アメリカ・カンサス	テープ2位
佐伯 きよえ	鳥取	1987	46	カナダ・バンクーバー	
杉田 喜久子	阪神	1988	47	アメリカ・オーランド	
中内 順子	筑波	1990	49	ニュージーランド・オークランド	
福本 弘子	奈良	1991	50	アメリカ・ワシントンD.C.	
鈴木 成子	柏	1992	51	アメリカ・サンアントニオ	テープ
高山 敦子	北摂	1993	52	カナダ・エドモントン	
曾根 悦子	千葉	1994	53	アメリカ・ピッツバーグ	
小澤 佳恵	千種	1995	54	アメリカ・サンフランシスコ	
西村 郷子	柏	1996	55	イギリス・グラスゴー	
戸塚 幸	E神戸	1997	56	アメリカ・リノ	
乙野 靖子	北摂	1998	57	アメリカ・ミネアポリス	
落合 友紀子	栄	1999	58	日本・神戸	
村山 紀子	岡山	2000	59	カナダ・トロント	
小寺 恵子	柏	2001	60	アメリカ・アナハイム	優勝
乙野 靖子	北摂	2002	61	バハマ・ナッソー	

### 第60回世界大会スピーチコンテスト優勝

#### 優勝者 小寺 恵子 (柏クラブ)

I T C世界大会のスピーチコンテスト優勝は、私のウン十年の人生の中でも信じがたくそして忘れられない出来事のひとつとなりました。出場できるだけでも幸運と、無欲で臨んだ事が実力以上の力を引き出したのだと思います。それにしても、人生には不可能と思われる事が本当に起こりう得るのだ、というのが正直な気持ちです。この先も、何が起こるか分かりませんが、この貴重な経験のお陰ですべてを前向きに捉え向き合っていけそうな気がします。また幾つになっても、この様なエキサイティングな経験ができるI T Cと出会えたこと、そしてI T Cを通じて多くの魅力的な方々に出会えることを、とても幸せだと思います。出会いからすべてが始まる、とすれば、次にはどんな事が待ち受けているのでしょうか。楽しみです。



英語を母国語としない日本リージョンの代表として小寺恵子さんが出場した。予選では21人の中から6人が選ばれて、ファイナルコンテストに臨み、見事に優勝杯を授与された！！

## 日本リージョン年次大会 教育・訓練セッション

年 号	教育・訓練セッション	講 師 リーダー
1982	ワークショップのやり方 平和と友情 レポート百科 婦人の役割 トーストミストレス アラカルト  フィルムによるオーストラリアの話	ノーマ・ユーウィン (ITC会長) ジェーン・ペイン (神戸) 八代 ふゆ子 (名古屋) 草野 美奈子 (大阪) 高柳 恭子 (名古屋) 伊庭 文子 (阪神) 古市 愛子 (阪神) ジーン・ジョイス (阪神)
1983 (第1回)	クラブのプログラムの作成 資格認証 - 紹介と説明 私はデリゲート - 何をしますか 評価 - やり方と考え方 翻訳 - 用語を統一しましょう 広報 - 何をすればよいのでしょうか 儀典 - 時と場合 リポート - よいリポートの作り方 ホスピタリティー新しいアイデア ニュージーランド - 興味ある国 ボストン - ITC世界大会について “着こなし”について 声のトレーニング - より美しく話せるために ユーモアを含むスピーチの作成  議事運営手順  クラブ委員会について 平和を通して統一を	リーン・キャバヒル (DIV. IV副会長) 高柳 恭子 (名古屋) 常田 道子 (京都) 早川 住江 (大阪) 田中 あさ子 (名古屋) 古市 愛子 (阪神) 武内 熙子 (関西) 木下 あつ子 (大阪) 中尾 豊 (芦屋) 芝 千恵子 (芦屋) 広報委員会 小林 淑子 (デザイナー) ルース・斉藤 (阪神) 八木 美恵子 (関西) 森田 慶子 (大阪) 菊池 悦子 (阪神) 置塩 啓子 (関西) 小山 孝子 (京都) バルク 良子 (神戸)
1984 (第2回)	トーストミストレスの任務 よりよいビジネスミーティング プログラムあれこれ スピーチ テクニック リーダーシップに就いて ディスカッションに就いて 広報活動とは? 展示 おもてなしとテーブルセッティング もっとよく知り合う為に トーストミストレス (プログラム・リーダー) 語彙をゆたかに トースト整理学	ロンダ・マケックニー (DIV. IV副会長) 新木 昌子 (名古屋) 鶴飼 恵津子 (名古屋) 手束 佳代子 (NHK大阪放送劇団) 武田 とし子 (阪神) 高橋 弘子 (葵) 江藤 万里子 (関西) 伊藤 英子 (国際社会の民間外交で活躍) 都間 和子 (京都) ロンダ・マケックニー (DIV. IV副会長) 杉山 満佐子 (関西) 大野 三恵子 (京都)

年 号	教育・訓練セッション	講 師 リーダー
	<p>もっと多くの視覚補材を 編集のよろこび 神戸の発見 インスタレーションのアイデア どんな色が私を美しくするでしょう 会計の仕事とは？ プログラムの表紙作り</p>	<p>小崎 茂子 (大阪) 泉 和子 (阪神) 土居 和子 (E神戸) 安井 晶子 (錦) 茂木 幸子 (甲南) 戸田 誠子 (甲南) 君野 栄子 (鳥取)</p>
1985 (第3回)	<p>I T Cフォーラム 委員会の機能 スピーチ テクニック 声を出して読んでみよう 資格認証のすすめ 混乱から整理へ -ファイリング</p> <p>“ラウンドロビン” スタイルの ディベートに参加してみませんか 効果的な話し方 ちょっとやせてヘルシーに変身しましょう 世界の民族衣装</p> <p>議事法 - I T Cをよりよく知るために 上手な話の進め方 ゲシュタルト療法による自己成長 オリエンテーション プログラムの作成 儀典と手順 I T Cのいろいろな国 Part 1 “オーストラリアへのいざない”</p>	<p>ルース・ラム (I T C第一副会長) 新木 昌子 (名古屋) グレチェン・ウィード (神戸) 臼村 治子 (神戸) 入江 笑子 (大阪) マキシム・バスカム (阪神) 酒井 基代 (阪神) 岩佐 圭子 (東京)</p> <p>ルース・ラム (I T C第一副会長) 大場 ケイ子 (元アナウンサー 美容研究家) 松本 敏子 (国立民俗学博物館研究協力者)</p> <p>置塩 啓子 (関西) 桑原 美紀子 (ひろしま) 高柳 恭子 (名古屋) 石川 祥子 (葵) ジーン・ジョイス (阪神) 井上 保子 (阪神)</p>
1986 (第4回)	<p>貴女は優秀な会員ですか I T Cアラカルト I T C資料を上手に使いましょう (新しいプログラムの発見)</p> <p>貴女は本当に聴いていますか 指名と選挙の手順 評価する人される人 日本語の話し言葉の特徴 トレーニング イン ライティング 国際児童文庫について I T Cを広げるために 美しく話す為に</p>	<p>ジーン・キッシンジャー (I T C国際会長) 新木 昌子 (名古屋) 田辺 敦子 (錦)</p> <p>高柳 恭子 (名古屋) 常田 道子 (京都) 鈴木 宏子 (名古屋) 水谷 修 (名古屋大学教授) 菊池 悦子 (阪神) 柴田 ひさ (筑波) 広瀬 忠子 (阪神) 臼村 治子 (神戸)</p>

年 号	教育・訓練セッション	講 師 リーダー
1987 (第5回)	プログラムの計画 あなたはリーダー 創造性への自己啓発 聴き方アラカルト スピーチのいろいろ わかりやすい議事法―初歩 あなた自身をもっと好きになるために リーダーシップとコミュニケーション I T C - 魅力あるひと ボディ ラングェジ あなたの話し方の長所をみつけませんか? 儀典とマナー バズセッション―可能性への探求 プログラムのアイデア	ゲイル・コリンズ (D I V. IV副会長) 盛田 純子 (名古屋) 広瀬 忠子 (阪神) 鶴飼 恵津子 (名古屋) 早川 住江 (大阪) 豊田 彬子 (葵) 都間 和子 (京都) 武田 健 (関西学院大学学長) 伊庭 文子 (阪神) 神作 保子 (東京) 臼村 治子 (神戸) 佐藤 薫子 (大阪) ゲール・コリンズ (D I V. IV副会長) マーガレット・キリングスワース (シェアパダリージョン カウンシルNo.5会長)
1988 (第6回)	能の「幽玄」の諸相 - みやび、ひえ、デカダンス 目で見るとやさしい議事法 魅力あるプログラム バズセッション 未来への展望 良きリーダーとなるために スピーチの構成 身近な法律 フォーラム - I T Cの現在とその将来 評価 - あなたの評価は甘口?それとも辛口? 効果的なコミュニケーション- 表現法と聴取法 - 会議の常識 - ロバート規則と私達 ディスカッションへのアプローチ プログラムのヒント ストーリーテリング ヘルシライフ - いつも笑顔でコミュニケーション	味方 健 (観世流能演技家) 常田 道子 (京都) 八日市屋多栄子 (神戸) 鈴木 宏子 (名古屋) 三宮 晶子 (阪神) 後藤 俐奈 (青山) 井上 智雄 (宝塚) ジューン・ラッセル (D I V. IV副会長) 武内 浩子 (甲南) 白江 圭穎子 (芦屋) 安藤 仁介(「ロバート議事法」監修者) 川崎 瑤子 (錦) 盛田 純子 (名古屋) 長尾 妙子 (葵)
1989 (第7回)	ロバート議事法 - 原則と運営 陶磁器の目から見た世界 変わりつつある女性と法律 - 国連女子差別撤廃条約委員会に出席して - 議事法のA B C プログラム作り スピーチの組み立て方 国際誤解の起こらぬように - コミュニケーションの面白さ - 朗読研修 声を出してみるってどんなこと	安藤 仁介 (「ロバート議事法」監修者) 佐伯 進 (ノリタケCo., Ltd. 社長) 大脇 雅子 (弁護士・法政大学講師) 小林 章子 (鳥取) 稲田 礼子 (奈良) ルビー・ムーン (D I V. IV副会長) 堀内 守 (名古屋大学教育学部教授) 池田 和佳子 (社会教育センター講師)

年 号	教育・訓練セッション	講 師 リーダー
	ディスカッション形態 ワークショップリーダー	桑原 美紀子 (ひろしま) 松下 忍 (東京)
1990 (第8回)	コミュニケーションについて - 社会心理学の視点から - リーダーシップについて 楽しい議事法 報告書作成の仕方 プログラムのアイデア - こんなプログラムがほしい フォーラム - ITCを考える 創造の伝達そして挑戦 プログラム作りのワークショップ 話し方について - 心の架け橋としての言葉 会計の基本 - だれにでもできる会計の仕事 異人館の話と歴史 議事法 - 修正 スピーチの構成 - もっと上手に話したい 評価について	田中 國夫 (関西学院大学社会学部教授) 山口 徹 (YMCAウェルネスセンター所長) 沖田 道子 (ひろしま) 木下 あつ子 (大阪) 小菅 あけみ (柏) コリーン・ドーラン 他 コリーン・ドーラン (ITC国際会長) 臼村 治子 (神戸) 蓬莱 幸子 (西宮) エヴリン・オバライン (阪神) 村上 美耶子 (関西) 藤原 文子 (都) 井出 智美 (関西)
1991 (第9回)	ちかごろの日本語 たとえ両手がなくとも 文字に息吹きを - 朗読を楽しく あなたにも教育ができます たかが議事法、されど議事法 わが”宝塚” プロトコールとは何か  フォーラム - 世界のITC事情 秘書学 - 文書作成の基本 スピーチコミュニケーションの基本 ITCって何?	八木 亜夫 (毎日新聞論説委員) 南 正文 (日本画家) 北山 たか子 (芦屋朝日カルチャーセンター講師) ルビー・ムーン (ITC書記会計) 鈴木 宏子 (名古屋) 石本 美知子 (大阪) アンドレ・ブリュウネ (元フランス総領事・立命館大学教授) ルビー・ムーン (ITC書記会計) 泉谷 智恵 (E神戸) 八日市屋多栄子 (神戸) 古市 愛子 (阪神)
1992 (第10回)	テレビうらばなし より良いコミュニケーションのために  あなたを輝かせる色に出会う ITCの宝庫 マイクの上手な使い方 相手に伝えるスピーチのために 身近な議事法 - 初級 文書の整理 - ファイリングのいろいろ 今、世界のリージョンでは	藤田 太寅 (NHK解説委員) 木下 通之 (ブリジストンスポーツ関西販売(株)社長) 高橋 佳子 (イメージコンサルタント) 新木 昌子 (名古屋) 早田 祐子 (都) 中村 美奈子 (九州) 滝本 政子 (梅田) 藤本 博子 (E神戸)

年 号	教育・訓練セッション	講 師 リーダー
	文楽よもやま話 意思決定のABC ディベートっておもしろい らくらくスピーチ攻略法 誰にでも本が出せます 会計と会計監査 - 簿記会計の基本を理解して 今、なぜ議事法？	竹本 住太夫 (人形浄瑠璃 ITC人間国宝) アニタ L. ヘンスラー (国際会長) 奥田 小夜子 (錦) 福本 弘子 (奈良) 中村 祐子 (梅田) 蓬莱 幸子 (西宮) 小谷 貞子 (京都)
1993 (第11回)	講演と朗読 一葉の魅力 - ことばの美しさ - 本当に必要でしょうか 京ことば “知りたいセミナー” 議事法初級 即興スピーチ入門 レトリックのファッション性 時代はKey Wordをもっている 雑学からのユーモア 評価の効果、効果ある評価 国際社会の儀典 パネルフォーラム “未来を創造する”	幸田 弘子 (俳優 文部省国語審議会委員) イレーン・ラルー (ITC国際会長) 坂本 東久子 (平安) 小林 令 (東京) 新宮 雄子 (米子マンデー) 小久保 実 (帝塚山大学教授) 伊志峰 正廣 (電通京都支社長) 秋山 美代子 (芦屋) 石川 祥子 (葵) 武田 綾子 (福山) モデレーター 三宮 晶子 (阪神) パネリスト 新木 昌子 (名古屋) 沖田 道子 (ひろしま) 石本 美知子 (大阪)
1994 (第12回)	パフォーマンスとおしゃべり “手作り楽器の暖かさを見直してみませんか” 講演とディスカッション “ニホン英語の通じビリティ” ディベートコンテスト “子は親を養うべきである” 関西学院大学 対 ITC 講演 “夫婦同文化はなぜ育たなかったのか”	北山 隆 (大阪音楽大学教授・付属楽器博物館長) 未延 岑生 (神戸商科大学教授) モデレーター 中村 祐子 (梅田) スピーカー 三枝 瑤子 (鳥取) 西村 温子 (平安) 杉谷 和代 (E神戸) ITCチーム 島本 佐江子 (名城) 松井 葵 (東山) 横田 滋子 (栄) 岡島 詠子 (錦) 木津川 計 (立命館大学産業社会学部教授)
1995 (第13回)	講演 “コミュニケーションはクリエイション (創造) である” パネルフォーラム “日本リージョンの明日を考える” 評価コンテスト	斎藤 美津子 (国際基督教大学名誉教授) モデレーター 盛田 純子 (名古屋) パネリスト 曾根 悦子 (千葉) 炭本 文子 (関西) 広瀬 忠子 (阪神) 岩佐 圭子 (東京)

年 号	教育・訓練セッション	講 師 リーダー
	名誉あるクラブ代表 - 派遣員の議事法 書き言葉によるコミュニケーション - 文章を綴る - 変化はおそれではなく一つの好機である 講演 “違うということ”	山崎 眞知 (宝塚) 三上 博子 (鳥取) ジェーン・ハリス (ITC DIV. IV副会長) 大宅 映子 (ジャーナリスト)
1996 (第14回)	講演 “女の言葉が男を変える” 英語によるワークショップ “通訳を使つてのスピーチの仕方” 知っ得クイズ - 3択問題 -  講演とQ&A 講演 “人間関係のコミュニケーション”	木下 明美 (ジャーナリスト) 笹本 晃子 (追手門学院大学講師)  後藤 絹代 (錦) 8カウンスルからの出題者による リリアン・モートン (ITC国際会長) エツコ・オバタ・ライマン (アリゾナ州立大学準教授)
1997 (第15回)	講演 “21世紀の家族へ”  講座 “新しい会員のためのITC講座”  わくわくパソコン生活 あなたはフランス語を知っていますか - 言葉をよりよく理解するために - ヨーロッパ文化に魅せられて 大類直人と会員によるトーク  講演とQ&A 建設的フィードバックによる成長促進 講演 “LOVE”	落合 恵美子 (国際日本文化研究センター助教授) 須知 繁子 (名古屋) 星野 佐登 (横浜) 西田 富美子 (平安) 田中 裕子 (ポート神戸) 続木 芙美子 (都)  大類 直人 (南知多オルゴール博物館館長) 野村 弘子 (名城) 棚橋てつ代 (千種) ジェーン・ゴルマー (ITC第二副会長)  鈴木 秀子 (聖心女子大学教授)
1998 (第16回)	パネルフォーラム 魅力ある将来のITCを考える  スピーチワークショップ 講演 “フランス料理よもやま” わたしってどんな人? - 性格テストを使って - 短い言葉 (五・七・五) によるコミュニケーション 21世紀の文化的可能性を求めて - 美術館/都市/田園 -	モデレーター 高柳 恭子 (名古屋) パネリスト マリー モハウス (ITC国際会長) 石川 浩子 (名古屋) 島本佐江子 (名城) 森川佐智子 (刈谷) 安保 夏子 (芦屋)  三田 地里穂 (演出家) 米津 春日 (リーガロイヤルホテル総料理長) 岩瀬 綽子 (六甲) 川島 芙美子 (松江) モデレーター 蓑 豊 (大阪市立美術館長) パネリスト 辻 成史 (大阪大学名誉教授) 中川 久定 (京都国立博物館長)

年 号	教育・訓練セッション	講 師 リーダー
1999 (第17回)	<p>ディベート “尊厳死を認めるべきである”</p> <p>講座 “あなたは漫画をどう読みますか” - 人とは 私とは -</p> <p>パネルディスカッション “21世紀に求められる人間像”</p> <p>どうやって楽しむの - 世界のメンバーとのコミュニケーション</p> <p>講座 “浮世絵の楽しみ方” - 見立絵の絵解き -</p>	<p>講評 中沢 美依 (日本ディベート協会理事) (名古屋短期大学教授)</p> <p>モデレーター 津田 由貴 (西宮)</p> <p>ディベーター 姫井恵美子 (岡山) 早津 聡子 (岡山あくら) 村山 紀子 (岡山) 中野 知子 (奈良) 多田 絵美 (都) 野田 優美子 (サタデー)</p> <p>松井 憲一 (京都洛北 道光舎主宰) (大谷大学非常勤講師)</p> <p>スピーカー 伊庭 文子 (阪神) 山城 真一 (徳島)</p> <p>モデレーター 森田 慶子 (大阪)</p> <p>パネリスト 杉本 隆人 (芦屋) 中村 祐子 (梅田) 甲斐 久子 (鳥取)</p> <p>リーダー 加藤 玲子 (名古屋) アン・イソット (阪神)</p> <p>早川 聞多 (国際日本文化研究センター助教授)</p>
2000 (第18回)	<p>講演 “語る楽しみ聴く楽しみ”</p> <p>コンピュータを使って I T Cの基本を知る</p> <p>パネルディスカッション “共に読む”</p> <p>テーブルコーディネーター</p> <p>Q&amp;A 何でも聞き、何でも提案する機会</p> <p>講演 “響きにのせた言葉”</p>	<p>古家 和子 (ひとり語り)</p> <p>加藤 玲子 (名古屋)</p> <p>三宮 晶子 (阪神)</p> <p>モデレーター 八尾 和子 (東京)</p> <p>パネリスト 鶴飼恵津子 (名古屋) 生和 陽子 (米子) 関 富美子 (盛岡) 更井 紀子 (岡山) 佐野 立子 (青山)</p> <p>幸村 有希子 (“A table” 主宰)</p> <p>クリストベル・ダウンズ (DIV. IV副会長)</p> <p>光信 捷彦 (武蔵野音大助教授)</p>
2001 (第19回)	<p>議事法を学ぶ 入門編</p> <p>議事法を学ぶ 応用編</p> <p>英語クラブを覗いてみませんか?</p> <p>6つの考える帽子</p> <p>I T Cを楽しみましょう</p> <p>話し方は生き方</p>	<p>小林 令 (東京)</p> <p>藤本 博子 (E神戸)</p> <p>英語クラブメンバー</p> <p>泉谷 智恵 (E神戸)</p> <p>中須 智子 (平安)</p> <p>木下 通之 (サンガリヤ)</p>



20周年記念講演  
御題“Communication”

高円宮妃 久子殿下

年 号	教育・訓練セッション	講 師 リーダー
	古典にふれる 平家物語  Q & A  対談 “21世紀の平和を語る”	琵琶演奏 奥村 旭翠 解 説 伊庭 文子 (阪神) ウェイン・ボーラー (ITC議会法規役員) モデレーター アン・イソット (阪神) 広島市長 秋庭 忠利 弁 護 士 緒方 俊平
2002 (第20回)	20周年記念講演 “Communication” パネルディスカッション “グローバルから見たITC”   ギャベルが鳴ったら 評価について 言葉の魅力と魔力 笑いの研究 音楽が言葉を越えて伝えるもの もっと知りたいITC	高円宮妃 久子殿下 (ITC名誉会員) モデレーター 新木 昌子 (名古屋) パネリスト ジーン・ターナー (元ITC国際会長) ウェイン・ボーラー (前ITC議会法規役員) 松下 忍 (東京) オブザーバー アイリン・ジョンソン (ITC国際会長) ウェイン・ボーラー (前ITC議会法規役員) ジーン・ターナー (元ITC国際会長) 三村 敦子 (都) 林家 染雀 (落語家) 山本 史郎 (音楽家) 大野 三恵子 (京都)

## 日本リージョン年次大会における表彰

年	期	20年以上会員	フルメンバー クラブ	最多増設 カウンスル	最多資格認証クラブ	最も会員数の 増えたカウンスル
1983年	1期	32年 1名 25年 3名 24年 3名 20年 3名				
1984年	2期	20年 1名	2クラブ	No. 2		
1985年	3期	20年 7名	9クラブ			
1986年	4期	20年 2名		No. 2	鳥取	
1987年	5期	20年 2名		No. 2	京都	
1988年	6期	20年 1名	14クラブ	No. 1・2・3	名古屋	
1989年	7期	20年 2名	14クラブ	No. 7	名古屋・神戸	
1990年	8期	20年 3名	13クラブ			
1991年	9期	20年 4名	18クラブ	No. 1	米子・都・名古屋	
1992年	10期	20年 3名	21クラブ	No. 1・6	松江・京都・名古屋	
1993年	11期	20年 2名	16クラブ	No. 8	米子	
1994年	12期	20年 3名	16クラブ			
1995年	13期		17クラブ			
1996年	14期					
1997年	15期	20年 17名	18クラブ			
1998年	16期	30年 14名 20年 31名	16クラブ			
1999年	17期	40年 2名 36年 2名 20年 16名	16クラブ			
2000年	18期	40年 1名 35年 5名 30年 1名 20年 26名	16クラブ			No. 6
2001年	19期	35年 2名 30年 2名 20年 28名	16クラブ			No. 8
2002年	20期	35年 1名 30年 5名 20年 33名	11クラブ			No. 5

年	期	そ の 他	
1984年	2期	会員名簿作成 広報のための標語 ポスター	泉 和子 津村 真澄 (永井) 竹原 仁子
1986年	4期	会員最多増加 広 報 最多会員紹介 I T Cテーマ翻訳 クラブ会員数の平均最多カウンスル	関西クラブ カウンスル No. 1 芦原 煌子・中村 博子 岸本 信子・酒井 徳子 No. 2

年	期	そ の 他
1988年	6期	最多会員紹介 大島 麗子 50周年ポスター 六甲クラブ、姫路クラブ、関西クラブ 功労者 新木 昌子 クラブ会員数の平均最多カウンスル No. 1
1989年	7期	最多会員紹介 乙野 靖子 事務局設立基金募集標語 阪神クラブ
1990年	8期	最多会員紹介 芦原 煌子・宇都宮 鏡子
1992年	10期	貢献者 新木 昌子 ライティング コンテスト *フィクション 1位 城本 都 *ノンフィクション 1位 宇都宮 鏡子 *詩 1位 武田 綾子 クラブ会員数の平均最多カウンスル No. 6 、 No. 7
1993年	11期	ライティング コンテスト *フィクション 1位 田中 克子 *ノンフィクション 1位 前川 晃子 (日) 1位 岩田 みつ (英) *詩 1位 城本 都
1995年	13期	PREM優秀活動賞 No. 1 徳橋 八重子・古澤 由紀 No. 3 大島 麗子・炭本 文子 No. 6 野村 美智子 No. 8 松尾 はるみ・小菅 あけみ
1996年	14期	PREM功労賞 リージョンPREMチーム カウンスルNo. 8PREMチーム クラブ 姫路・しらさぎ・ひろしま・安芸 個人 武中 祥子 PREM奨励賞 カウンスルNo. 1・3・6・7・8 クラブ ひろしま・奈良・安芸
1999年	17期	設立50周年 名古屋クラブ
2002年	20期	16年間継続フルメンバー 岡山クラブ 20周年記念沿革史表紙デザイン 森下 道代 (飛騨高山)

## カウンスル創立および分割

カウンスル	年 代	会 長	クラブ数	現在クラブ数	会 員 数
No. 1	1973	新 木 昌 子	3	12	274
No. 1分割	1980	ジェーン・ペイン	15		
No. 1	1981	吉 田 千鶴子	4		
No. 2	1981	三 宮 晶 子	5	9	167
No. 3	1981	江 藤 万里子	6	9	206
No. 2分割	1987	菊 池 悦 子	17		
No. 3分割	1987	続 木 智 子	15		
No. 2	1988	泉 和 子	6		
No. 3	1988	置 塩 啓 子	6		
No. 4	1988	桑 原 美紀子	5	11	258
No. 5	1988	早 川 住 江	6	11	244
No. 6	1988	藤 原 文 子	5	12	277
No. 7	1988	西 尾 琉璃子	4	8	215
No. 1分割	1989	小 林 令	16		
No. 1	1990	豊 島 知 子	9		
No. 8	1990	堀 江 祐 子	7	13	246

2002. 6. 30現在

カウンスル	8	クラブ数	85	会員数	1887
-------	---	------	----	-----	------



## クラブ初代会長・チャーター番号年月日・所属カウンスル

カウンスル	クラブ名	認証番号	年月日	初代会長名
1	名古屋	273	1949. 7. 5	A.L. エリックソン
2	阪神	1594	1966. 6. 15	山本 尚
2	神戸	2173	1972. 8. 1	ダスティ・ナイズリィ
1	葵	2565	1976. 4. 5	睦田 久子
3	関西	2566	1976. 4. 5	辰馬 米子
8	東京	2668	1977. 6. 29	市田 弥生
1	錦	2669	1977. 6. 29	堀内 廸子
2	イースト神戸	2673	1977. 7. 6	ナミタ ヒロ シャムダサニ
4	九州	2674	1977. 8. 6	長沼 美智子
5	大阪	2754	1978. 6. 15	早川 住江
3	芦屋	2755	1978. 6. 15	天野 千嘉子
6	京都	2824	1979. 6. 19	山下 慧理子
6	平安	2914	1980. 6. 3	続木 智子
7	鳥取	2990	1981. 4. 1	鶴田 春子
6	都	3009	1981. 6. 1	奥 富 緑
2	甲南	3077	1982. 3. 24	大橋 成子
1	栄	3099	1982. 8. 6	長司 英子
5	北大阪	3113	1982. 9. 23	米田 聿子
8	筑波	3150	1983. 6. 10	キャッシィ バートンルイス
8	青山	3151	1983. 6. 10	今井 千代子
6	奈良	3154	1983. 6. 20	福本 弘子
3	西宮	3160	1983. 7. 14	蓬萊 幸子
4	ひろしま	3171	1983. 8. 22	桑原 美紀子
1	名城	3192	1984. 3. 12	澤田 嘉子
2	六甲	3228	1984. 7. 19	鳴瀧 智子
5	豊中	3264	1985. 3. 8	塚原 真佐子
7	米子	3268	1985. 3. 21	坂口 総子
3	姫路	3292	1985. 6. 25	大谷 清子
1	東山	3323	1986. 4. 7	山田 八寿子
4	福山	3327	1986. 4. 24	武田 綾子
4	岡山	3331	1986. 6. 12	黒住 千鶴子

3	尼崎	3337	1986. 7. 7	喜多久子
3	舞子	3341	1986. 7. 21	中島博子
5	南大阪	3356	1987. 2. 20	山田嘉子
7	松江	3358	1987. 2. 24	田部陽子
5	城北	3359	1987. 2. 24	坂宮 静
2	宝塚	3360	1987. 2. 24	井上芳子
8	柏	3363	1987. 3. 20	小菅 あけみ
1	浜松	3379	1987. 6. 1	古澤由紀
8	千葉	3393	1987. 10. 14	田久保 節子
6	北摂	3394	1987. 10. 14	永井由美子
5	梅田	3395	1987. 10. 14	中村祐子
7	倉吉	3400	1988. 3. 7	尾崎千鶴
8	サンデー	3403	1988. 3. 21	山川より子
4	安芸	3406	1988. 4. 5	伊塚 真理子
4	大分	3414	1988. 7. 15	鳥巢裕子
8	東葛	3418	1988. 7. 21	松尾 はるみ
6	サタデー	3423	1988. 10. 11	高尾 邦仁子
7	境	3435	1989. 5. 10	松本 伊智子
7	米子マండレー	3436	1989. 5. 10	繁森 明美
1	飛騨高山	3454	1989. 9. 25	伊東 百々栄
5	千里	3455	1989. 10. 4	春次光子
2	御影	3464	1990. 1. 29	村上京子
4	岡山あくら	3484	1990. 6. 4	池田 都
5	帝塚山	3487	1990. 6. 6	武井 美保子
7	出雲	3492	1990. 7. 6	岩国 欽子
3	しらさぎ	3493	1990. 7. 6	伊賀 武子
5	堺東	3509	1991. 2. 11	西本 澄子
1	ぎふ	3516	1991. 3. 22	林 孝子
6	琵琶湖	3528	1991. 6. 1	目方 ミヨ子
8	葦崎	3529	1991. 6. 1	飯野 志津子
1	千種	3530	1991. 6. 10	鈴木 宏子
2	三田	3534	1991. 7. 22	曾山 綾子

4	瀬戸内	3545	1992. 2. 7	三 村 悦 子
1	刈 谷	3546	1992. 2. 12	市 川 文 子
7	とっとり砂丘	3551	1992. 4. 23	石 破 佳 子
6	鴨 川	3552	1992. 5. 19	中 村 慶 子
2	松 山	3581	1993. 6. 1	石 丸 和 子
8	彩 玉	3585	1993. 6. 9	永 井 眞 澄
3	ポート神戸	3590	1993. 7. 9	室 谷 良 子
8	横 浜	3591	1993. 8. 2	星 野 佐 登
5	徳 島	3597	1993. 10. 22	五 藤 喜 久 子
4	福 岡	3611	1994. 4. 7	池 野 京 子
8	盛 岡	3622	1994. 12. 30	小 泉 千 恵 子
4	徳 山	3632	1996. 2. 1	黒 川 美 暉 子
4	尾 道	3644	1997. 1. 30	柏 野 光 代
6	枚 方	3648	1997. 6. 3	加 藤 洋 子
5	阿 波	3657	1998. 2. 12	川 添 眞 理 子
1	岡 崎	3658	1998. 2. 12	加 藤 咲 子
8	アクア千葉	3662	1998. 6. 1	三 枝 道 子
6	奈良若草	3666	1999. 6. 1	小 澤 良 枝
3	淡 路	3678	2000. 5. 25	高 山 敦 子
6	サンガリヤ	8051	2000. 6. 1	木 下 道 之
6	金 沢	3690	2002. 6. 1	不 室 律 子
8	東京セントラル	3691	2002. 6. 1	嶋 田 凱 子



# 日本リージョン組織図

(日本リージョン カウンシル分布図)

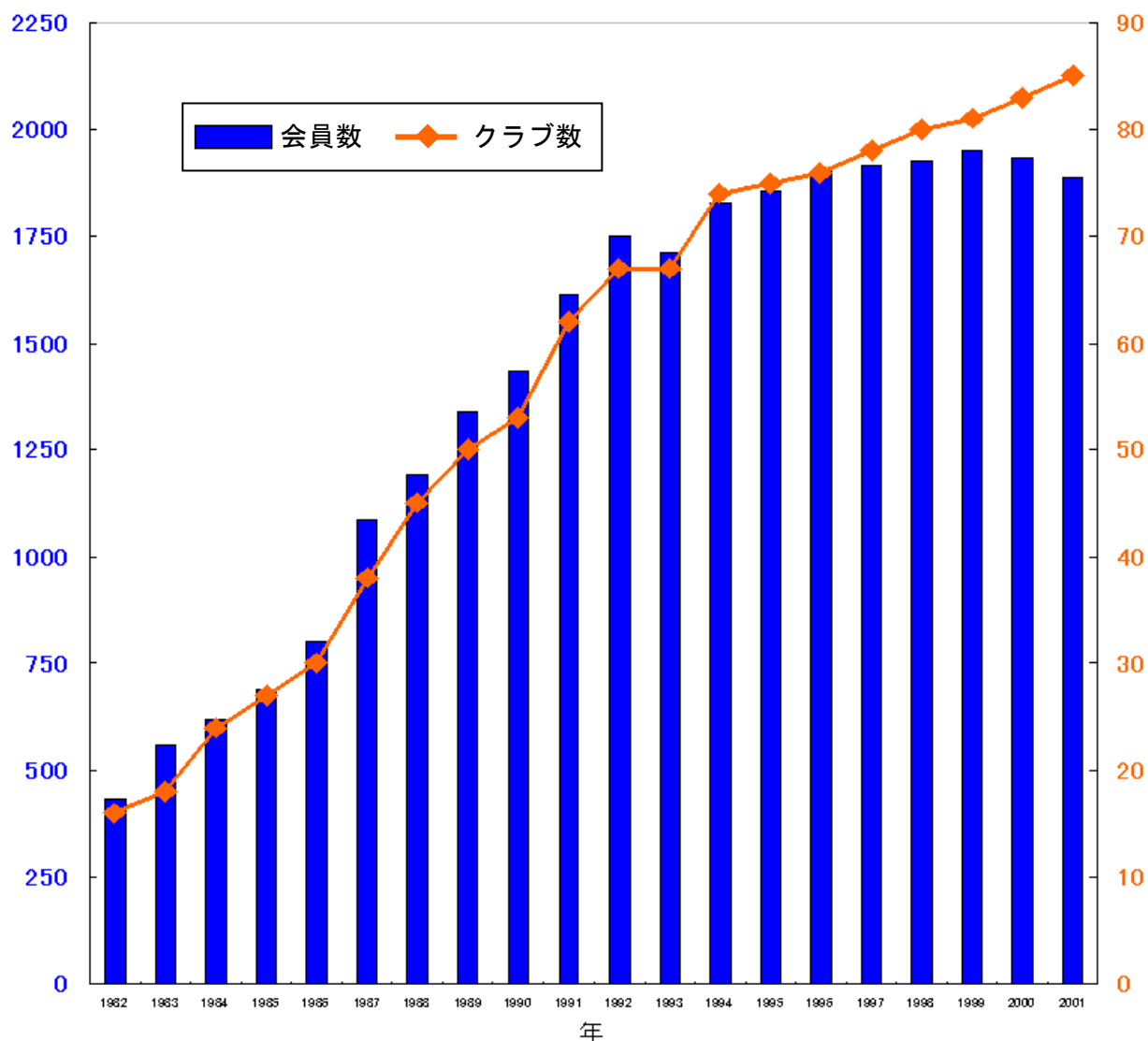


カウンシルNo. 1	カウンシルNo. 2	カウンシルNo. 3	カウンシルNo. 4
名古屋	★阪神	関西	九州
葵	☆神戸	芦屋	ひろしま
錦	☆イースト神戸	西宮	福山
栄	甲南	姫路	岡山
名城	六甲	尼崎	安芸
東山	宝塚	舞子	大分
浜松	御影	しらさぎ	岡山あくら
飛騨高山	三田	ポート神戸	瀬戸内
ぎふ	☆松山	淡路	福岡
☆千種			徳山
刈谷			尾道
岡崎			

カウンシルNo. 5	カウンシルNo. 6	カウンシルNo. 7	カウンシルNo. 8
大阪	京都	鳥取	東京
北大阪	平安	米子	☆筑波
豊中	都	松江	青山
南大阪	奈良	倉吉	☆柏
城北	☆北摂	境	☆千葉
☆梅田	サタデー	米子マンデー	☆サンデー
千里	琵琶湖	出雲	東葛
帝塚山	鴨川	とっとり砂丘	韮崎
堺東	牧方		彩玉
徳島	奈良若草		横浜
阿波	サンガリヤ		盛岡
	金沢		アクア千葉
			☆東京セントラル

使用言語 無印・・・日本語 ☆・・・英語 ★・・・日本語・英語

## 会員数とクラブ数の推移



年	会員数	クラブ数	年	会員数	クラブ数
1982	433	16	1992	1751	67
1983	559	18	1993	1712	67
1984	617	24	1994	1828	74
1985	689	27	1995	1855	75
1986	802	30	1996	1902	76
1987	1087	38	1997	1914	78
1988	1192	45	1998	1927	80
1989	1340	50	1999	1950	81
1990	1436	53	2000	1932	83
1991	1614	62	2001	1887	85

2002.6.30 現在

## I T C 国際役員・委員としての活動

1984-1985	I T C 選出役員 副会長 Division VI
1990-1991	I T C 選出役員 副会長 Division VI

新 木 昌 子
バルク 良 子

I T C 委員会		
1975	World Publication	新 木 昌 子
1977	Translation Management	新 木 昌 子
1978	Translation Management	新 木 昌 子
	Accreditation	新 木 昌 子
	Program Education	新 木 昌 子
1979	History	バルク 良 子
	Translation Management	新 木 昌 子
	Accreditation	新 木 昌 子
	Accreditation	盛 田 純 子
1980	History	鈴 木 美 枝 子
	Extension Study	新 木 昌 子
1981	History	東 浦 百 合 子
	Extension Study	新 木 昌 子
	Magazine Liaison	ジーン・ジョイス
1982	History	武 田 と し 子
	Extension Study	新 木 昌 子
1983		
1984	Magazine Liaison	置 塩 啓 子
	Program Extention	野 田 絢 子
	Speech Contest	ジーン・ジョイス
	Translation Management	新 木 昌 子
1985	Magazine Liaison	置 塩 啓 子
	Program Education	芦 田 淑 子
	Public Relation	ジーン・ジョイス
1986		
1987	Magazine Liaison	置 塩 啓 子
1988		
1989		
1990	Membership	バルク 良 子
1991		
1992		
1993		

I T C 基金
八 代 ふ ゆ 子
菊 池 悦 子
新 木 昌 子
伊 庭 文 子
吉 田 千 鶴 子
早 川 住 江
貴 田 正 子
菊 池 悦 子
鈴 木 宏 子
三 宮 晶 子
田 中 あ さ 子
盛 田 純 子
江 藤 万 里 子
泉 和 子
常 田 道 子

1994			片桐寛子
1995			石川浩子
1996	ITC2000 Strategies for Success	アン・イソット	小林 令
1997	ITC2000 Strategies for Success	アン・イソット	伊庭文子
1998	Accreditation Convention Coordinator Election Program Education Protocol Speech Contest	松下 ゑん 新木昌子 石川祥子 小谷貞子 小林 令 アン・イソット	道広裕子
1999	Continuous Improvement Magazine Liaison	高柳恭子 アン・イソット	堀内 勉子
2000	Bylaws & Resolution  Public Relations Continuous Improvement  Strategies for Success	藤本博子 曾根悦子 加藤啓子 高柳恭子 今井千代子 アン・イソット	新木昌子



I T C 歴代国際会長  
第58回神戸世界大会にて

# ITC 終身会員名簿

カウンスルNo.1			53	甲南クラブ	平岡英子
1	名古屋クラブ	新木昌子	54		石村夫紀子
2		盛田純子	55		岩田洋子
3		佐藤明子	56		長澤久子
4		須知繁子	57		酢谷道子
5		高柳恭子	58	甲南クラブ	柳川公子
6		豊島知子	59	六甲クラブ	古市愛子(非現役)
7		鵜飼恵津子	カウンスルNo.3		
8		吉田千鶴子	60	関西クラブ	江藤万里子
9		高田朝子(非現役)	61		三宅梢
10	葵クラブ	藤田礼子	62		杉山満佐子
11		浜田幸代	63		武内熙子(非現役)
12		石川祥子	カウンスルNo.4		
13		伊藤孝子	64	九州クラブ	中村美奈子
14		梶浦清子	カウンスルNo.5		
15		近藤みほ子	65	堺東クラブ	横山幸子
16		長尾妙子	カウンスルNo.6		
17		丹羽美智子	66	京都クラブ	近松淳子
18		柴田陽子	67		井上丹規子
19		高橋弘子	68		小山孝子
20		牛込佐知子	69		中川愛子
21	錦クラブ	堀内廸子	70		野村美智子
22		飯沼佐智子	71		大野三重子
23		片桐寛子	72		大藪省子
24		田口邦子	73		常田道子
25		田中弘子	74		山田千恵子
26		徳橋八重子	75		田中郁子
27		杉山純恵	76		立石峰子
28		山本弘子	77		小谷貞子
29		竹内汎子	78		中村武子
30		石川好子	79		多田景子
31		宮寄雅子(非現役)	80	平安クラブ	安達寿子
32	千種クラブ	鈴木宏子	81		藤原いと
			82		葛野夏子
			83		中須智子
カウンスルNo.2			84		レイビー・ジュディー(非現役)
33	阪神クラブ	広瀬忠子	85		坂本東久子
34		伊庭文子	86		高橋雅子
35		泉和子	87		続木智子
36		菊池悦子	88		西田富美子
37		小島百合子	89		大藪京子
38		三木艶子	90	都クラブ	八田周子
39		モグベル・マヒン	91		西原久美子
40		野田絢子	92	枚方クラブ	加藤洋子
41		オバライン・エブリン	カウンスルNo.8		
42		酒井基代(非現役)	93	東京クラブ	相川真貴子
43		三宮晶子	94		小林令
44		山本須名美	95		松下ゑん
45	神戸クラブ	バルク良子	96		村野和佐子(非現役)
46		立花真琴	97	横浜クラブ	星野佐登
47		内海優	98		高橋美枝子(非現役)
48		白村治子			
49		八日市屋多栄子			
50	イースト神戸	神谷恵子	ITC終身会員 合計98名 (合計98名-非現役9名=在籍会員89名)		
51		置塩啓子			
52		泉谷智恵(非現役)			

2002.6.30現在

# ITC第58回世界大会準備委員会

於：神戸ポートピアホテル 1999. 7. 17-21

ITC国際会長 コーディネーター アシスタントコーディネーター	ジーン・ターナー D. C. 新木 昌子 A. C. 泉 和子 S. C.
---------------------------------------	---

<b>事務局</b>	
書記	西村 みつ子
大会会計	常田 道子 A. C.
歳入財源	高柳 恭子 A. C.

<b>スペシャルアシスタント</b>	
選挙	石川 祥子
プログラム印刷	藤本 博子
プログラム教育	ジュディス・ウオレス S. C.
現場プログラム教育	小谷 貞子 S. C.
現場儀典	小林 令 S. C.
現場スピーチコンテスト	アン・イソット S. C.
ウエルカムパーティ	柳川 公子

<b>総務グループ</b>	
ディレクター	星野 佐登 S. C.
名札・リボン	佐山 昌子 S. C.
出納係	長尾 妙子
資格審査	アイ・ヨコタ D. C.
現場資格審査	三枝 瑤子 S. C.
キット	杉山 満佐子 S. C.
食事券	大島 麗子
登録	曾根 悦子
研修受講券	中野 洋子

<b>ホスピタリティーグループ</b>	
ディレクター	三宮 晶子 S. C.
空港歓迎	中島 みお子
接待	長澤 久子 S. C.
インフォメーション	船橋 侑子
メッセージセンター	神谷 恵子
ページ・ホステス	安達 寿子
広報	広瀬 忠子

<b>会場グループ</b>	
ディレクター	野田 絢子 A. C.
バナー・標識	大塚 勢津子
デコレーション	菊池 悦子 S. C.
照明・音響	武内 浩子 S. C.
備品	柚本 加代子
設営	山崎 真知 S. C.
通訳	川崎 瑤子

<b>行事グループ</b>	
ディレクター	盛田 純子 A. C.
エンターテイメント	伊庭 文子
フラッグセレモニー	スザンヌ・シレット S. C.
インスタレーション	近藤 みほ子
礼拝	小島 百合子 S. C.
新役員挨拶	バルク 良子 A. C.
販売	鈴木 宏子 A. C.
観光	八日市屋多栄子 S. C.



### COURTESY RESOLUTION

- Whereas, We, the members of International Training in Communication, assembled at the Portopia Hotel located on the Port Island of Kobe City, Japan, on July 17 - 21, 1999 for the exciting 58<sup>th</sup> Annual Convention, the last convention of the 20<sup>th</sup> century, and
- Whereas, The success of the Convention was achieved through imaginative planning, genuine hospitality and countless hours of devoted service, therefore be it
- Resolved, That the ITC convention assembly express sincere appreciation to all who contributed to the success of this convention with special thanks to the ITC Board of Directors, Parliamentarian, ITC Standing and Special Committees, and all persons responsible for this convention, and be it further
- Resolved, That special commendation be extended to the Convention Coordinator, Masako Araki, members of the convention committees, the training session leaders, plenary speakers, presenters of special cultural sessions, translators, speech contestants and judges, other program participants, and gracious members of the host region, and be it further
- Resolved, That sincere thanks be extended to the management and staff of the beautiful Portopia Hotel for their wonderful service, and be it further
- Resolved, That we recognize the honor bestowed on ITC by the attendance of Her Imperial Highness, Princess Hisako of Takamodo, and be it further
- Resolved, That the assembly show appreciation by a rising vote of thanks to the 1998-1999 President of International Training in Communication, Jean Turner, who challenged us to "*Look Beyond the Obvious*" and who presided with grace and good humour at a memorable convention.

Presented by the ITC Bylaws and Resolutions Committee

Moira Grahame, Thelma McClelland, Val Harper

July 21, 1999



自認

## 儀 礼 的 決 議 案

我々 インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションの会員は 1999年7月17日から21日まで、日本の神戸市ポートピアアイランドにあるポートピアホテルに於いて、20世紀最後の素晴らしい第58回年次大会に集った。

今大会の成功は、想像力を駆使した計画、心からのもてなしと膨大な時間に及ぶ献身的な奉仕によって達成された**故に**

I T C大会はここに I T C 役員会、議会法規役員、I T C 常任委員会、I T C 特別委員会および今大会に責任あるすべての人々に特別の感謝の意を表し、今大会の成功に貢献した全ての方々に心からの感謝の意を表すことをここに決議する。そしてさらに

新木昌子大会コーディネーター、大会準備委員会の委員、トレーニング セッションのリーダー、全体会議のスピーカー、特別文化セッションのリーダー、通訳者、スピーチコンテスト出場者、審査員、その他のプログラム参加者、ホスト・リージョンの礼儀正しく親切な会員にたいし、特別の称賛をすることを決議し、さらに

美しいポートピアホテルの役員及びスタッフの皆様には、素晴らしいサービスにたいして、深く感謝の意を表することを決議し、さらに

高円宮妃久子殿下のご臨席により I T C の賜った荣誉に感謝することを決議し、さらに

大会は『あたりまえのその先を見る』ように私たち会員を導き、この記念すべき大会において、気品とユーモアをもって議長を務めたジーン・ターナー1998-1999 I T C 国際会長に、起立して感謝の意を表明することをここに**決議する**。

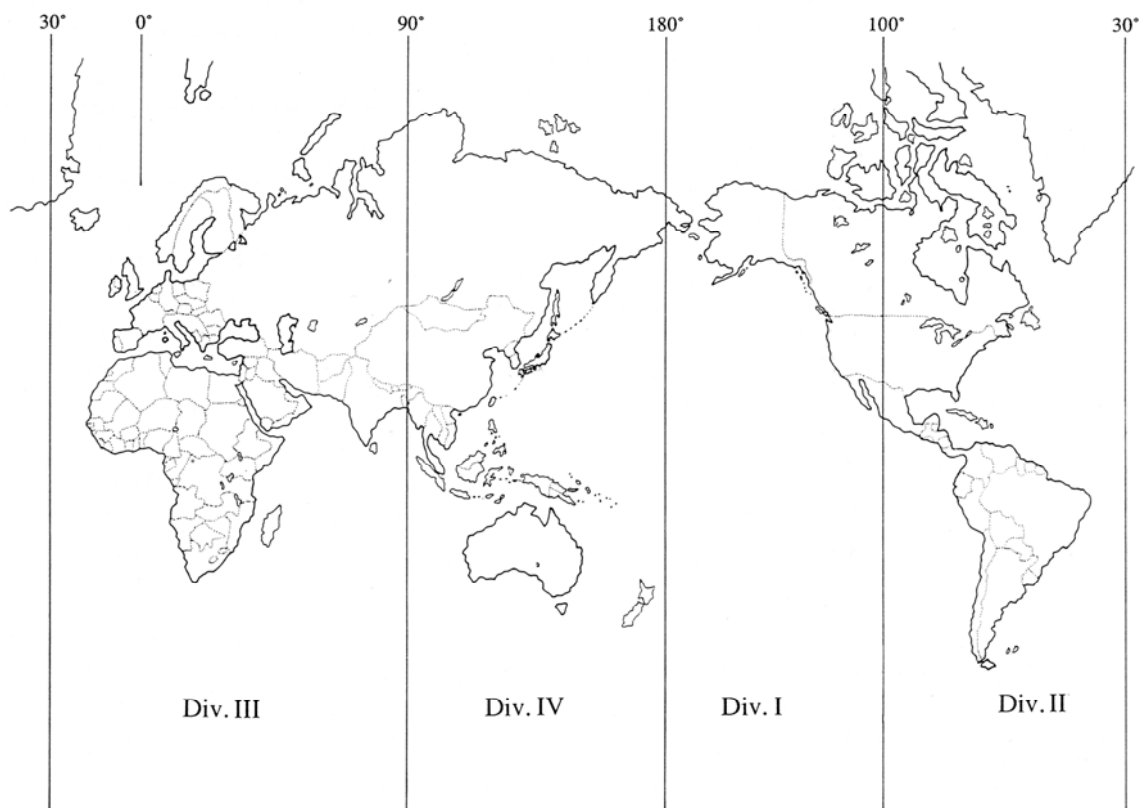
I T C 会則・決議委員会

Moira Grahame, Thelma McClelland, Val Harper

1999年7月21日

58回 I T C 世界大会最終日（7月21日）のビジネスミーティングに於いて、儀礼的決議案が満場一致で可決されました。

# TWENTY-ONE REGIONS IN FOUR DIVISIONS



## DIVISION I

Golden West  
Lewis And Clark  
Mexico  
Pacific  
Northwest  
Sierra Pacific  
Southwest

## DIVISION II

Blue Ridge  
Great Lakes  
Heart Of America  
Land 'O Lakes  
Northeast  
Sunshine

## DIVISION III

Europe'92  
Great Britain  
Hellenic  
Iceland  
Southern Africa  
Founders  
Two Oceans

## DIVISION IV

Australia  
Japan  
New Zealand

### 第14条

構成 ITCのディヴィジョンは、次のように経線に従って設定される。

ディヴィジョンI 西経180度から西経100度まで  
ディヴィジョンII 西経100度から西経30度まで  
ディヴィジョンIII 西経30度から東経90度まで  
ディヴィジョンIV 東経90度から東経180度まで

これらのディヴィジョン分割線はすべて、現存のITCリージョンの境界線を考慮している。ディヴィジョン分割線は、担当地域を監督するために設定される。

# 20年のアルバム

第1期 (1982~1983)



第2期 (1983~1984)



第3期 (1984~1985)



第4期 (1985~1986)



第5期 (1986~1987)



第6期 (1987~1988)



第7期 (1988~1989)



第8期 (1989~1990)



第9期 (1990~1991)



第10期 (1991~1992)



第11期 (1992~1993)



第12期 (1993~1994)



第13期 (1994~1995)



第14期 (1995~1996)



第15期 (1996~1997)



第16期 (1997~1998)



第17期 (1998~1999)



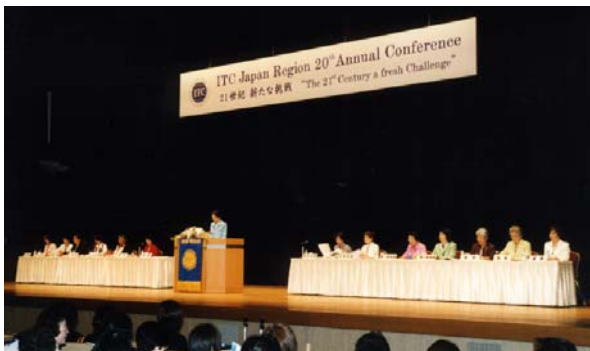
第18期 (1999~2000)



第19期 (2000~2001)



第20期 (2001~2002)



世界大会 (1999. 7. 17~7. 21)



## 編 集 後 記

20周年の沿革史を発刊するにあたって、日本リージョンの足跡を改めて辿ってみました。20年の間に世界最大のリージョンに成長いたしましたことは、誠に画期的な進歩です。沿革史に掲載いたしました歴代会長のメッセージからは、日本リージョンの発展を願う会長の熱意が伝わって参ります。この熱意が、沿革史を通して会員の皆様にも伝わって欲しいと願っております。

この20年間の世の中の変化は驚くほどです。一番の変化は、ITの進歩です。そのお陰で、パソコンに取り入れた細かいデータも一瞬のうちに整理され、また記録、資料がきちんと保管されるようになりました。

20年の記録の編集につきまして、20年間のリージョン会報を調べたり、勿論10年沿革史も参考にさせて頂き、また多数の会員から原稿、資料、写真などの提供をしていただきました。皆様方のご協力により、20周年の沿革史が完成いたしましたことを心より感謝し、お礼申し上げます。そしてこの沿革史が、これからいつまでも日本リージョンの歴史の記録として、会員のお役に立てば委員会としてこの上もない幸いと存じます。

### ITC 日本リージョン20周年沿革史委員会



委員長 新木 昌子  
副委員長 星野 佐登  
委員 竹内 宏子  
長尾 妙子  
石川 好子  
加藤 玲子

発行日	2002年7月31日
発行	ITC 日本リージョン
発行責任者	泉 和子
制作	ITC 日本リージョン20周年沿革史委員会
印刷	服部印刷(株) TEL (052) 361-5432 名古屋市中川区中郷5丁目261番地
表紙デザイン	森下道代(飛騨高山クラブ)